

会長のページ 少子化対策	河野 雅行	3
日州医談 救急・災害医療に関わって	米澤 勤	4
随 筆 母と妻の遺し物ー転居異聞（その1）.....	森 憲正	6
エコー・リレー（532）.....	戸枝 通保, 河野 雅充	10
メディアの目 医療現場にユーモアを	宝満 志郎	11
寄 稿 川名修徳先生が弓道の範士に	堀之内和代	12
宮崎大学医学部だより（内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野）...	柳 重久	22
部会だより（園医部会）	橋口 兼英	23
私の本 蘇れ 失語症への取り組み	大西 雄二	38
診療メモ 死体検案と死体検案書の作成の注意点	湯川 修弘	68
宮大医学部学生のページ 部活動紹介～篠懸太鼓～	澤村 成美	84

あなたできますか？（平成30年度医師国家試験問題より）	9
叙勲・祝賀	14
褒章・祝賀	14
表彰・祝賀	15
宮崎県感染症発生動向	18
各郡市医師会だより	20
各種委員会（介護保険委員会）	24
日本医師会 医業の第三者承継フォーラム	25
令和元年度女性医師支援センター事業九州ブロック別会議	26
第41回産業保健活動推進全国会議	28
ベストセラー	31
第2回外国人医療対策会議（都道府県医師会外国人医療対策担当理事連絡協議会）...	32
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	34
日医インターネットニュースから	36
医師国保組合だより	39
会員の異動・変更報告	40
理 事 会 日 誌	42
県 医 の 動 き	47
ドクターバンク情報	49
行 事 予 定	55
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	57
平成31年・令和元年総目次	70
あ と が き	88

お知らせ 「日医君」イラストデータ利用許諾申請について	33
年末・年始の休館について	46
宮崎県医療勤務環境改善支援センター	48
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	53
医師資格証を持ちましょう	67
郡市医師会への送付文書	86

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品：写真〕

雨上がりの光景

一ツ瀬川流域は、雨天時や寒い日の朝にしばしば川霧が湧き幻想的景色が現れる。雨のち晴れの天気予報で米良街道を行ったり来たりしていたら、岩井谷トンネルの出口付近で薄日が射した。取り急ぎ手持ち段階露出で撮り、杉林の部分にはスローシャッターで天気雨の軌跡も入れようとしたが一瞬の光景で雨が止んでしまった。

宮崎市 丸 田 英 夫

会長のページ

少子化対策

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

宮崎県の出生数は1975年に18,123人でしたが2016年は8,929人と半減しています。一方死亡数は8,266人から13,702人と増加しています。死亡数が出生数よりも多いので人口減少は止むを得ないとしても、本県の出生率は2016年に1.71あり、全国平均の1.44よりも上回っているのに、減少のスピードは全国平均よりも早くなっています。若者が就職や進学で大挙して県外に出てしまうからであると思われます。高校卒業生の半数近くにもおよびます。これは全国でも3番目の有り難くない数字です。子どもを産み育てるのに適したAYA世代と言われる世代が少なくなれば、当然少子化は顕著になるでしょう。悪循環です。将来日本の人口は減少すると推測されています。特に宮崎県では半減する地域もあり、県内地方自治体では消滅の危機に見舞われるとの予測をされている地域もあります。先日のニュースで開村130年を迎えた西米良村では過去最大5千人超の人口が現在千人余に減少し、しかも高齢者の割合が増えているそうです。若い世代が多くなれば子どもが増えるでしょうし地域が活性化します。出生率を上げるのが根本的な解決策ではあっても、何人産めとか、女性はお産をするべきとかの表現は女性蔑視ととられがちで、責任ある立場の方々としては言えない言葉です。内容は間違いなくとも誤解を招くし、意図的に曲解する人たちもいて社会問題となり物議を醸します。要は、若い世代が生みやすい、育てやすい、そして住みやすい環境を整えることです。人生に対する価値観は多彩であり人それぞれですが、子どもを持つ幸せ、価値を見出せる社会を作る必要があります。我が国において過去には国力増強、労働力・兵員確保のために「産めよ、増やせよ」との風潮がありました。私たちの世代はまさにその名残りであり、兄弟も多く町中至る所に子どもたちの声が聞こえ、姿が見られました。私たちよりも一世代前には10人兄弟も稀ではなかったようです。世の中が豊かになり落ち着いて、生活に不安がなくなれば出生率が下がるのは自然の摂理とも言えます。生物の社会では環境が悪化する際には種族保存のために多くの種を残したり、多産傾向となったりするそうです。出生数を増加させるための妙手は何かあるのでしょうか？県でも様々な取組みがされています。宮崎県の魅力を再発掘したり、若い世代の働く場所を確保して帰県をうながすために企業誘致、起業促進等の施策を講じていますが、決定打はなかなかないようです。AYA世代のがん罹患率も問題です。統計では80%が女性で子宮頸癌や乳癌が多くみられ、ワクチン接種や検診等の対策が急がれます。全国ワーストにランクされる人工死産への対策も必要です。子どもを持つことの素晴らしさの意識を持たせる工夫と子育てのための魅力ある社会づくりに医療面からのサポートと、環境整備は我々の世代の責任でもあります。

(令和元年11月17日)

日州医談



救急・災害医療に関わって

理事 米 澤 勤
よね ざわ つとむ

救急医療

救急医療の提供体制

あくまでも個人的な見解であるが、県内においてある程度救急医療提供体制が整っているのは、二次医療圏でいうと、延岡西臼杵、宮崎東諸県、都城北諸県の医療圏である。ただし、この圏域の中でも、中心部に遠い地区などはアプローチの問題が大きく横たわっている。また、この3圏域においても、疾患の特異性や受け入れ態勢の条件など、制約のあることもままある。都会では複数の大学や大病院の救命救急センターがひしめいており、競争で救急患者を受け入れている様子を先般参加した令和元年度・医師救急医療実地訓練を受講した際に、目の当たりにしている。

しかし、宮崎県のような絶対的に医療資源の不足している地方都市では望むべくもない。ここで、有力な解決策の一つが交通網の整備をはじめとした、アプローチ手段の改善である。平成24年に運航が開始されたドクターヘリは、とりわけ山間地域の救急体制の改善に大きく寄与したところは周知のことであり、平成29年度の運航実績は、483件の要請件数に対し、388件（現場出動246件、転院搬送142件）、95件はキャンセル（飛行前キャンセル76件、飛行後キャンセル19件）となっており、大いに活躍している。ドクターカーの導入も、スムーズな患者搬送だけでなく、現場あるいは転送元に医師が投入されることにより、医療過疎地での医師不在問題解決の一助となっている。

宮崎－延岡間の東九州自動車道の片側2車線への拡充をはじめ、九州中央自動車道、県南地域の東九州自動車道の整備が待ち望まれるところである。また、一般道路の整備も関係当局には速度感を持って進めてもらいたい。

一方、各医療圏での救急医療体制の整備も行われなくてはならない。しかしながら、地域では、医療資源（医師の絶対数）が足りないことはもちろん、医師の高齢化が特に深刻である。これらはもはや、一医療機関の努力で解決できる問題ではない。（救急）医療の質の確保には、経営母体の壁を乗り越えた合併や統合などの思い切った施策が必要と考える。この問題に関しては、まさに今、各医療圏で繰り返し開催されている地域医療構想会議の場で議論されるべき議題の一つであることは間違いないと思われるが、顔と顔が見える会議の場でいざとなると非常に扱いにくいものであらうと考える。

上記のような医療提供側の問題が山積しているのは事実として、改善・解決に向けてのさらなる努力が求められる。

医療受給側の問題

救急医療現場において、より高度でより専門性の高い医療提供を求めることの是非について、上記を求めるがあまりに、善意で救急対応を行った医師に対する訴訟問題、そしてそれが医師の弾劾につながった不幸な事案。司法の判断に否やを唱える立場にないことも自覚し、また不幸にも最悪の結果に終わった家族の思いは理解できないことはないが、結果的にこれが救急現場で働く医師の活躍する守備範囲を狭め、二の足を踏ませているように思うのは筆者だけであらうか。「専門医」でなくても十分に救急対応できる疾病や外傷は多いはずである。「甘い」と批判されるのを覚悟で言えば、救急医療をもう少しだけ「温かい目」で見てくれるならば、地域で解決できる一次・二次救急症例はもっと多くなるであらう。

また、救急病院へのいわゆる「コンビニ受

診」の問題も然りである。地域医療の崩壊を招く不要・不急の時間外受診を控えてもらう必要がある。夜間や休日に「数日前（中には数か月前）から具合が悪かった」や早朝に「今日の仕事に間に合うように」といった類の診療問い合わせや、前触れなしのウォークインのこうした「救急患者」に閉口した経験のある会員も数多いと思われる。これらは医師の診療に対するモチベーションを著しく低下させる。また、日曜・祝日在宅医制度についても、休日診療と勘違いしている患者（医療側の一部）のなんと多いことか。定期内服薬をこの日に合わせて受け取りに来る事例は後を絶たない。

これらは、医療の供給側、需給側双方にとって不利益であることを理解してもらう努力を行うべきであろう。

延岡市が地域の署名活動を契機に「地域医療を守る条例」を全国で初めて制定したことは画期的であり、こうした運動を全県下、そして全国に広めていく必要があると考える。

災害医療

昨今の台風・大雨災害

今年10月の台風19号とその後の大雨による被害は記憶に新しいところであるが、昨年台風21号被害や西日本豪雨災害など、我々がかつて何十年に一度かという災害が近年多発している。地球温暖化により日本列島自体が亜熱帯化しているのが原因と言われている。トランプ大統領が何と言おうと、データは地球規模の温暖化を示しており、北極の氷の量の激減は氷河の崩壊映像などからも容易にとらえられる。一説では1日に37億トンの氷が融解していると伝えられている。地球が数億年かけて化石燃料として閉じ込めてきた炭素を、人類は産業革命以来、わずか2～300年で使い切ろうとしていることからしても想像に難くない。災害の多さは、必要以上の利便性を求めた人類への地球からのメッセージだと思っている。脱線ついでに、日本列島の亜熱帯化はインフルエンザ通年流行を招くとも言われ、これも災害の一つに数えられるかもしれない。

地震・津波災害

日本の災害医療は阪神淡路大震災を機に、大

きな転換を果たした。DMATの創設やドクターヘリの普及などが挙げられる。東日本大震災や、熊本地震災害を貴重な教訓として進化し続けている。さて、ここ30年以内の発生確率が80%と予測されている南海トラフ大地震では本県でも大きな被害が出ることを免れないとされている。

火山噴火災害

鹿児島県で本年4月に開催された九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会での講義の中で、新燃岳の2011年噴火の際の噴出物量は6日間で5,000万トンであり、桜島の1年分の500万トンの10倍であるとの知識を得、現在も燃り続けているこの山が本噴火を起こした場合の被害は計りしれないものがあると推測される。

CBRNE¹⁾ 災害

わが国では、麻原彰晃率いるオウム真理教信者が引き起こした地下鉄サリン事件に代表されるNBCテロリズムの問題も平成29年5月号の日州医事で河野会長が触れられている。

その原因は大地震がもたらした津波であるが、福島第一原発事故はまさに放射性物質(N)による災害としてとらえなければならない。

A企業の大工場を有するスポーツランド宮崎県では、東京(札幌)オリンピックを来年に控え、各国の競技選手の事前キャンプも予定されており、爆発物(E)への対策も疎かにはできない。また、航空機や船舶、列車などの大量輸送交通機関の事故に対する備えも必要であろう。

県医師会としての対応

災害医療のキーワードである「CSCA TTT」²⁾にもあるように、指揮と連携、安全、情報伝達、評価は災害医療の根幹をなすものであり、これらは県医師会と県の各部署との協力なくしては成り立たない。災害発生時のいざという時に備えて、現在建築中の県庁新館内の防災拠点庁舎には、是非とも居場所が欲しいところである。

1) Chemical, Biological, Radiological, Nuclear, Explosive

2) C:Command and Control, S:Safety,

C:Communication, A:Assessment,

T:Triage, T:Treatment, T:Transport

随 筆

母と妻の遺し物－転居異聞（その1）

宮崎市 もり 森

のり まさ 憲 正

転居に先立ち、不用品の整理に着手した。熊本の家から搬入したまま放置していた荷物は日常生活にほとんど必要なく、直ぐ処分できると予想していた。これらは亡妻がまだ元気だった頃、梱包したもので、開封もせず押し入れの奥に仕舞い込んでいたものである。

その中の数個は見覚えのある衣装箱で、ずしりと重みがあった。亡妻の遺品、書簡類、書類等がぎっしりと詰められていた。遺品類の下からビニール袋に包まれた細長い固いものが出て来た。触って胸騒ぎがしてきた。もしやと開けてびっくり。時折、気になっていた短剣と剣帯が完全にそのままの形を保って出現した。金具の部分は燻んではいるが、錆びてはいない（写真1）。74年の歳月を物語るかのようなものである。

剣帯のバックルの受革の裏面（写真2）には第七十五期 正憲森と墨筆で書かれている。奇妙なことに期名は左書き、氏名は右書きである。

断捨離どころではなくなった。回想のねじは一挙に終戦直後に巻き戻されてしまった。最後



写真2 剣帯の期名と姓名

にこの短剣を公式に佩したのは昭和20年10月であったことは記憶している。以来74年間、人目を避けてじっと耐えながらこの箱の中にいたのか、この箱の中で筆者の行動を案じ、人生の舵取りを誤りはしないかと見守っていて呉れたに違いないと愛おしい気持ちにさえなった。

昭和18年12月1日、海軍兵学校入校式以来、身に着けた短剣である。昭和20年8月15日終戦、下旬には原爆で形跡もなくなった広島駅から無蓋車に乗って復員、10月1日熊本地方海軍人事部での海軍兵学校閉校式に出席して、海軍兵学校生徒を免ぜられた。

復員後、田舎の生家に落ち着き、軍帽と短剣は床の間に掛けていた。閉校式後間もなく、熊本の片田舎までMP（米軍のmilitary police）が4、5台のジープでやって来て、3、4日間、町中をうろついていた。その目的は定かでなかったが、残党狩りが始まったのではないかとの噂を聞きつけて、母は目立つ床の間の軍帽と短剣をそっと箆の奥に隠した

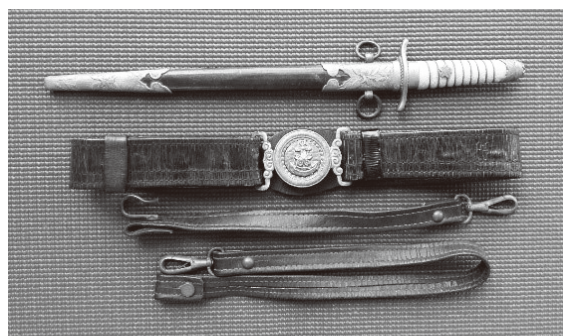


写真1 出て来た短剣

という。当時、復員してきた友人たちと頻繁に集り、米軍に一矢報いる方法について甲論乙駁していた頃であり、気付かなかった。

結核から回復し、また戦争で水漬く屍にもなることなく生き延びてやっと帰郷したばかりの我が息子をまた残党狩りの生贄にされるのではないかと恐れたのであろう。

その後、二度と短剣を佩くこともなく、また探すこともなかった。米軍への反抗は蟻螂が斧でしかなく、手向かうことも諦め、復学する積りでいたが、復員学徒に対する復学反対運動が起り、各大学の学生数の一割以内に制限された。若気の至りで復員業務に従事することにして、再び生家を飛び出した。若松、戸畑、門司と渡り歩き、更に復員業務を離れて、クラスメイトと共に四国に渡り、丸亀で会社を起こし、闇屋まがいの仕事に関西地区と四国一円を走り回った。暫くは戦後のどさくさに紛れて糊口を凌ぐことができたが、商法に疎い者の集りでは将来を見込めず、教官の勧めで再度復学を誓って解散し、帰郷した。不透明であった戦後の学制改革もGHQの指令で6334制に落ち着き、昭和24年9月から新制大学が発足することになった。これに間に合わせるべく、旧制中学や旧制五高の助手を務めながら、復学に備えた。終戦以来、実に4年の歳月が経過していた。斯くして短剣と共に、わが人生の第一ステージの幕は降りた。

以来、短剣を探すこともなく、時流に流されて、何時の間にか宮崎に棲みついた。短剣に関心がなかったわけではない。宮崎に来て何年か経過したある日、在京のクラスメイトから“まだ短剣を持っているか”との電話を受けた。“何処にあるか判らない”と返事すると“今通販で手に入るよ、スペイン製だけど”と知らせて呉れた。その時、急に短剣が欲しくなったのか、教

えられた通販を通して買い求めたが、スペイン製には特別な感慨を覚えることなく、これも押し入れに放置していた。

再会した短剣の剣帯バックルの受革の裏面に書いた期名と氏名が気になって、記憶を辿ってみた。入校式後、各分隊の自習室へ案内され、各自に割り当てられた机の中には普通学（数学、理化学、精神科学、地理、歴史、国語漢文、外国語）と軍事学（運用術、航海術、砲術、水雷術、通信術、航空術、機関術、工作術、兵術、軍政、軍隊統率学、軍隊教育学）の教科書がびっしりと詰まっていた。その中に「礼法集成」と「海軍兵学校生徒心得」があった。「礼法集成」は戦後「江田島教育」⁽¹⁾に収録されている。

その「礼法集成」には宮中礼式から始まり、海軍軍人としての礼儀から、服装、敬礼、訪問、和室、洋室における席順、座法、宴席での作法、マナー等、書簡の書き方、一般礼式作法に至るまで事細かに説明されている。服装に関してはその第二編、第一に“1. 海軍服制、2. 海軍服装令による”とされている。海軍士官の服装

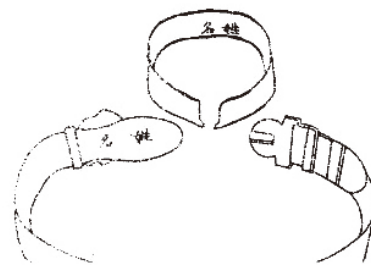


写真3

第五圖 戊劍帶

はこの海軍服制（明治3年）（後に海軍服装令（大正3年）と改定）に基づいたもので、この中に海軍生徒も短剣を佩することが定められていた。

「生徒心得」の服装の部に“短剣は点検、儀式および外出の時に限り佩用すべし”とある。また

その付図には軍帽から下着、褌に至るまで官給品すべてに氏名を記入する場所が図示してあった。剣帯の姓名はこの「生徒心得」の中の図示（写真3）に従って書いたものと思われる。それには「名姓」とあり、右書きになっている。期名については図示がなく、恐らく数字が入っているため、左書きに書いたのではなかろうかと推察した。昭和18年12月に書いたもので、満16歳時の筆跡と対面することができた。

短剣は戦闘用のものではなく、服装の一部であった。入校後教えられた巡航節の中に「腰の短剣、伊達造り」とあるように、短剣姿は格好良くて、当時の青少年、女子の憧れの的でもあった。それも74年以前の話である。

終戦まで短剣を身に着けていたのは海軍三校（兵学校、機関学校、経理学校）の卒業生（海軍士官）および生徒だけではなく、海軍軍医官、技術士官等も短剣を佩用していた。最近の映画「アルキメデスの大戦」に出演する菅田将暉扮する主人公^{かいただし}権直は海軍技術少佐である。その短剣姿を映画で久しぶりに見た。

短剣や軍装の写真、歴史等に関しては(2)、(3)、(4)に詳しい。

生涯に園児、生徒、学生として幼稚園、小、

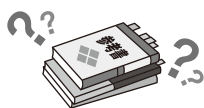
中学校、大学の入学式を経験したが、短剣を身に着けて臨んだ江田島の入校式だけが感激一入で印象深く記憶に残っている。

今回の転居を決断せず、放置荷物の整理に手を付けていなかったら、二度とこの短剣に出会うことはなかったかもしれない。我が子を守るため筆筒の奥に隠した母の愛情や、何時か開いてくれることを願い乍ら自分の遺品類と共に箱に仕舞ってくれたであろう亡妻の配慮に感謝せずにはいられない。

短剣との再会に気持ちは昂り、暫し追想に耽った。

参考文献

- (1) 豊田穰：江田島教育p.137，新人物往来社 昭和48年7月
- (2) 平山晋編：写真集 日本軍服大図鑑 明治編 国書刊行会 2018年12月25日
- (3) 柳生悦子：日本海軍軍装図鑑 [増補版] 大型本 並木書房 2014年7月7日
- (4) フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』：軍服（大日本帝国海軍）
[https://ja.wikipedia.org/wiki/軍服_\(大日本帝国海軍\)#p-search](https://ja.wikipedia.org/wiki/軍服_(大日本帝国海軍)#p-search)



あなたできますか？

－平成30年度 医師国家試験問題より－

(解答は24ページ)

1. 関節リウマチ関節外病変はどれか。
 - a 外陰部潰瘍
 - b 間質性肺炎
 - c 後腹膜線維症
 - d 虚血性視神経症
 - e 大動脈弁閉鎖不全症
2. 健康日本21（第二次）の最終目標と位置付けられているのはどれか。
 - a 生活習慣及び社会環境の改善
 - b 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
 - c 健康を支え、守るための社会環境の整備
 - d 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
 - e 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上
3. 4か月の乳児。RSウイルス感染症による呼吸障害のため入院している。呼吸・心拍モニターのアラームが鳴ったため研修医、指導医および看護師で患児を診察に行ったところ全身にチアノーゼを認めた。気道確保をして呼吸を確認したが、自発呼吸を認めない。心電図モニターでは心静止である。末梢静脈路は確保されており、心肺蘇生の備品は病室に準備されている。直ちに行うべきなのはどれか。
 - a 酸素投与
 - b 気管挿管
 - c 電気ショック
 - d アドレナリン投与
 - e 胸骨圧迫と人工呼吸
4. 地域における保健、医療、福祉および介護の各組織とその機能の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。
 - a 児童相談所 ――― 発達障害児の療育相談
 - b 地方衛生研究所 ― 医療事故調査と原因究明
 - c 社会福祉協議会 ― 生活保護の受給手続き受付
 - d 市町村保健センター
――― 自立支援医療の指定提供機関の指定
 - e 地域包括支援センター
――― 高齢者虐待の被害者の保護
5. 40歳の男性。風疹対策のポスターを見て来院した。風疹のワクチン接種は受けておらず感染歴は明らかでない。健康状態は良好で、既往歴に特記すべきことはない。本人はワクチン接種を希望している。正しいのはどれか。
 - a 免疫を獲得している可能性が高くワクチン接種は必要ない。
 - b 他のワクチンを接種する場合は1週間以上の間隔をあける。
 - c 副作用の可能性が高くワクチン接種は避けるべきである。
 - d ワクチン接種に抗体価の測定は必須ではない。
 - e 成人のワクチン接種は経口でも行える。
6. 66歳の男性。5年前から前立腺癌で治療中である。半年前に腰椎と右肋骨に転移が確認され、最近、腰痛を自覚するようになった。疼痛以外の自覚症状はない。疼痛緩和のために、まず投与すべきなのはどれか。
 - a コデイン
 - b モルヒネ
 - c フェンタニル
 - d オキシコドン
 - e アセトアミノフェン
7. 我が国の死亡と寿命の変遷について正しいのはどれか。
 - a 1950年以降、死亡率の最も高い死因は一貫して悪性新生物である。
 - b 1960年代中盤までの寿命の延伸の最大原因は乳幼児死亡の減少である。
 - c 1970年代の脳卒中死亡率の低下は主として脳梗塞の減少による。
 - d 1980年以降、肺炎の年齢調整死亡率は増加が続いている。
 - e 1990年以降、自殺による死亡数は一貫して3万人を超えている。
8. 平成27年度の国民医療費について正しいのはどれか。
 - a 介護保険費用が含まれる。
 - b 国民所得に対する比率は10%を超える。
 - c 一般診療所医療費は病院医療費より多い。
 - d 年齢階級別では65歳以上が80%を超える。
 - e 薬局調剤医療費は医科診療医療費より多い。
9. ノロウイルス感染症について正しいのはどれか。
 - a 食前加熱が有効である。
 - b 抗ウイルス薬が有効である。
 - c 生体内でペロトキシンを産生する。
 - d ワクチンが定期接種に位置付けられている。
 - e 原因が判明した食中毒の中での患者数は第3位である。

エコー・リレー

(532回)

(南から北へ北から南へ)

少子高齢化に思う

宮崎市 とえだウイメンズ と えだ みち やす
クリニック 戸 枝 通 保

来年にはついに私も65才となり、年金世代に突入する。なんとも複雑な心持ちである。少子高齢化が叫ばれて久しいが、最近気になる発表がいくつかなされている。まず最も驚かされた

のは2019年の出生数が90万人を割る可能性が濃厚との発表である。出生数が初めて110万人を切ったのが2005年、100万人を切ったのが2016年のことであるから、それからわずか3年で更に10万人以上減少と、予想された2021年より2年も早く90万人を切ることになる。すなわち出生数の減少は加速していることになる。更に注目すべきは合計特殊出生率は2005年の1.26を底に2018年には1.42とむしろ増加していることである。これは期待されていた第3次ベビーブームが起らず、出産可能な年代の人口そのものが大幅に減少していることを意味する。

もう一つの気になる発表は、不妊症に対する体外受精などのいわゆる生殖補助医療（ART）を行う施設が初めて減少に転じたという報告である。ここ数年ARTの実施数も微増となっている。背景にはもちろん患者数の減少がある。

更に最近では、晩婚化どころか非婚化が進行している。これには経済的な問題が大きく関わっていると思われる。出産可能世代が減少し、その上非婚化では、日本は想像を絶する少子高齢化に突き進んでいることになる。果たしていつまで年金がもらえるのか心配になってくるが、それ以上に若年層の負担も増大することになる。やがて日本も移民の国と呼ばれるようになるのであろうか。

[次回は、日南市の田中 茂樹先生をお願いします]

熱気球の思い出

宮崎市 河野整形外科 かわ の まさ みつ
河 野 雅 充

11月は佐賀バルーンフェスタの時期です。皆さんは熱気球に乗ったことはおありでしょうか？ 私は学生時代「飛行研究会」という名の実質競技熱気球の同好会に所属しておりました。

気球で何を競うんだ？と思われるかもしれませんが、要は風向きを読んでいかに目的地の近くまで飛んでいくか、という競技を、地方自治体の村おこしを兼ねて1週間程ぶっ続けで行うものです。朝風、夕風の時間とにかく飛ばないとポイントが入らないため、飛んで降りて燃料補給をひたすら繰り返していました（早朝から30kgのガスボンベを二つ担いで畑を全力疾走）。

青空に浮かぶ熱気球は一見気持ちよさそうに見えますが、頭の上のバーナーから3mの火柱があがり、熱気から身を守るために真夏でもジャンパーを着こみ、しかも風と同じ速度で動くのでゴンドラ内は無風と、灼熱地獄だったのを覚えています。

名前のイメージとは裏腹に、やたら体育会系がかったきつい思い出が多いのですが、無風の早朝、雲の上から見る夜明けが不思議と静かで美しかったのを覚えています（その後ガスを使い果たし、スクラップ置き場のタイヤの山の上に着陸する羽目になったのですが）。

皆様も各地のバルーンフェスタに行かれることがありましたら、裏でこんなことをやっているんだと思ってやってください。

会場で眠たい顔をして、季節外れの汚いジャンパーを着ている怪しい集団がいたら、彼らがイベントの「主役」です。

[次回は、都城市の小牧 亘先生をお願いします]

メディアの目



医療現場にユーモアを

毎日新聞 宮崎支局長
ほう まん し ろう
宝 満 志 郎

欧米の医療現場では「ユーモア療法」というのが積極的に取り入れられているらしい。患者に対してだけでなく、病院スタッフ同士のコミュニケーションにも効果があるという。ユーモアや笑いを医療に取り入れたことで有名なのが、映画「パッチ・アダムス」のモデルになった米国のハンター・アダムス医師だ。1960年代、クリニクラウン（臨床道化師）となり、当時暗いイメージがあった病棟にユーモアや笑いを取り入れた。

私事で恐縮だが、私も病院でユーモアで助けられた経験がある。

私はよくお尻の「ほっぺた」に「粉瘤」というおできができる。悪性のものではないように、大きくなり痛くなると、簡単な手術で処置する。

20年くらい前の年末年始、そのおできを発症したときのこと。切開することになり、注射で局部麻酔をしてもらうが、それでも痛い。さらに膿を出すため、患部を圧迫する。たまりかねて恥ずかしながら「痛て！」と叫んでしまった。

「僕が押したんじゃないよ。〇〇さんだよー」

と年配の医師。「私じゃないですよ。先生が押したんじゃないませんか」と年配の看護師さん。“責任”のなすりつけ合いを始めた。もちろん、それはお二人の「演技」。そのユーモラスなやりとりに、思わず笑ってしまい、おかげで痛さも半減した。ちなみに、私の経験では、年配のドクターや看護師さんにユーモラスな方が多い（やはり、ベテランの余裕なのか）。

2016年亡くなった永六輔さんは、毎日新聞のコラムに「病院にユーモラスな風を」と題して、「『笑う』ということがどれだけ人間を和ませてくれることか。（中略）冗談ばかり言っている先生がいたっていいと思うほどである」と書いた。

病院は忙しいし、深刻な病状の患者さんもらっしゃるだろう。しかし、笑いで、“ある状態”を緩和できるかもしれない。

とはいえ、笑うのはなかなか難しい時代ですね。

寄 稿

川名修徳先生が弓道の範士に

日向市 沼田皮膚科 ^{ほりのうち}堀之内 ^{かず}和 ^よ代

延岡市医師会の川名修徳先生が、平成30年5月31日に弓道の範士を拝受されました。範士と聞いてもピンときませんでした。後にそれはすごいことだと知ることになりました。平成6年に全日本男子弓道選手権大会で初出場ながら初優勝を飾り、延岡に天皇杯を持って帰られた時は、驚きと喜びで沸き返りました。その後も研鑽を積み、優秀な結果を残されています。平成24年5月5日には弓道の最高の八段を取られました（弓道では八段が審査で受けられる最高の段位です）。弓道には3つの称号があり、錬士・教士・範士とありますが、最高の範士を拝受できるのは、教士八段を受有する人の中から「徳操高潔、技能円熟、識見高邁にして特に斯界の範たること」とありま

す。私のような凡人には難しい言葉ですが、要するに弓道の技術はもちろんのこと、人格・品格・見識などすべてにおいて卓越した数少ない崇高な方に与えられるものであります。全日本弓道連盟には平成31年3月31日現在で会員数135,403名、称号受賞者数は、錬士4,946名、教士1,997名、範士67名です。範士の中では川名先生が一番お若く、いかに範士を授与されるのが難しいことかおわかりになると思います。宮崎県での範士は、23年ぶり5人目の快挙のことです。宮崎県皮膚科医会では、川名先生の栄誉を称え「宮崎県皮膚科だより」に川名先生からエッセイを書いていただきました。このたび「日州医事」にその一部を転載していただくこととなりました。

範士の称号授与について

延岡市 川名皮膚科 ^{かわ}川 ^な名 ^{なが}修 ^{のり}徳全日本弓道連盟 弓道範士八段
小笠原流弓馬術礼法歩射重藤弓免許

昨年、私は全日本弓道連盟（公益財団法人）から範士の称号を授与され、記念品にする弓巻に染め抜く書をいつもお世話になっている岡村公子先生にお願いしました。その原本が宮崎県医家芸術展に出品され「宮崎県皮膚科だより」編集の東久美子先生の目に留まり、東先生と宮

崎県皮膚科医会会長の成田博実先生から範士になったことを書くようにと仰せつかりました。今までも「宮崎県皮膚科だより」では自分の弓のことばかりでしたので、躊躇しましたが忘備録のつもりで書いてみました。

平成24年5月5日、京都で八段審査を受け

て、受審者164名中運よく2名の合格者に入りました。範士称号は八段になって5年以上経過し、審議会で承認を得て授与されます。平成30年6月20日、東京明治記念館で2年ぶり4名の範士昇格の授与式があり、弓界のためますます尽力してくださいと言われました。範士になったからと言って、特に変わったことはありませんが、中央の審査委員、審判委員、講師として全国の審査会・競技会・講習会の担当依頼がきますので、仕事の折り合いをつけながらできる限り引き受けています。現在（令和元年6月1日現在）、範士は全国で68名いますが、上記担当資格の年齢は原則80歳までとなっているので、範士約40名と教士八段20名で担当しています。



11月3日宮崎神宮で小笠原流に伝わる暮目の儀（祓いの暮目）です。白い直垂を着て、烏帽子、脇差を付け浅沓を履き、鏑を付けた暮目矢を射ることで魔障を退散させる儀式です。

岡村先生に揮毫していただきました弓巻（ゆまき）についてお話します。

範士の称号授与や高段位を認許された時などに、お祝いのお返しやお世話になった方々に記念品として、弓巻を作製して差し上げることがあります。弓巻は長さ260cm、幅13cmの長い布で一端を20cm程筒状に縫い弓の上端を差し込

んだ後、弓に巻きつけて、持ち運ぶときに保護するものです。弓巻の表地に自分の家紋や座右の銘を染め抜きます。弓聖と言われた阿波研造範士の直弟子で私の師である元岩手県弓道連盟会長範士九段朝岡蕃先生（1893-1974）が、昭和13年、兄弟子の安澤平次郎範士から贈られた揮毫の中に「一射盡精魂（いっしやにせいこんをつくす）」という言葉があり、私の座右の銘にしておりました。それをご令息の朝岡哲様のお許しを得て今回の弓巻を作りたいと思いました。ずっと残るものなので、その書を延岡市で内科・皮膚科をされ、かつ書家でもある岡村公子先生（号 瑛翠）にお願いし、200以上作製、全国に配る予定ですと申し上げたら、それこそ精魂込めて書いてくださいました。先生にはご苦勞をおかけして誠に申し訳なかったと思っています。その原本を3月にありました宮崎県医家芸術展に出品された次第です。

（「宮崎県皮膚科だより」103号より転載
一部省略）



叙勲・祝賀

保健衛生功勞により旭日双光章

や ひろ かつ ぞう
八 尋 克 三 先生（宮 崎）

令和元年11月3日，保健衛生功勞により旭日双光章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



八尋 先生

褒章・祝賀

保健衛生功績により藍綬褒章

くら やま しげ き
倉 山 茂 樹 先生（宮 崎）

令和元年11月3日，保健衛生功績により藍綬褒章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

表彰・祝賀

国民健康保険事業及び介護保険事業功労により国民健康保険中央会表彰

あくね	ひろ	のぶ	
阿久根	広	宣	先生（宮 崎）
いしかわ	とも	のぶ	
石川	智	信	先生（宮 崎）
いのうえ	まさ	ふみ	
井上	雅	文	先生（宮 崎）
つもり	しんいちろう		
津守	伸一郎		先生（宮 崎）

令和元年10月1日、国民健康保険事業及び介護保険事業功労により国民健康保険中央会表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



阿久根 先生



石川 先生



井上 先生

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

さい	しょ	こういちろう	
税	所	幸一郎	先生（延 岡）
とみ	た	せいいちろう	
富	田	精一郎	先生（延 岡）

令和元年10月15日、国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



税所 先生



富田 先生

表彰・祝賀

精神保健福祉事業功労により県知事表彰

まつ ふじ まさ ひこ
松 藤 正 彦 先生（延 岡）

令和元年10月26日，精神保健福祉事業功労により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



松藤 先生

日本医師会最高優功賞

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行 先生（宮 崎）

令和元年11月1日，日本医師会最高優功賞をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



河野 先生

表彰・祝賀

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

はら だ かず みち
原 田 一 道 先生（宮 崎）
よし やま まさ とし
吉 山 政 敏 先生（都 城）

令和元年11月21日，学校保健功勞により文部科学大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



原田 先生



吉山 先生



宮崎県感染症発生動向 ～10月～

令和元年9月30日～令和元年11月3日（第40週～第44週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核12例（男性11例・女性1例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症4例：都城（2例），宮崎市，高鍋（各1例）保健所管内から報告があった。0～4歳，5～9歳，10歳代，30歳代（各1例）で，1例は無症状病原体保有者である。主な症状として腹痛，水様性下痢，血便，嘔吐，発熱がみられた。原因菌のO血清型別はO157（VT1, 2）（2例），O111（VT2），O157（VT2）（各1例）であった。

4類：○A型肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。90歳代で，主な症状として肝機能異常がみられた。

○つつが虫病2例：宮崎市，日向（各1例）保健所管内から報告があった。40歳代，80歳代（各1例）で，主な症状として頭痛，発熱，リンパ節腫脹，発疹，肝障害がみられた。

○デング熱1例：宮崎市保健所管内から報告があった。20歳代で，病型はデング熱であった。主な症状として2日以上続く発熱，全身の筋肉痛，血小板減少，白血球減少等がみられ，インドからの来日者であった。

○日本紅斑熱2例：宮崎市，都城（各1例）保健所管内から報告があった。いずれも70歳代で，このうち1例でダニの刺し口が確認された。主な症状として発熱，頭痛，発疹，肝機能異常がみられた。

5類：○アメーバ赤痢1例：高鍋保健所管内から報告があった。50歳代で，病型は腸管アメーバ症であった。主な症状として粘血便，しおり腹，鼓腸がみられた。

○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：都城保健所管内から報告があった。70歳代で，主な症状として腹膜炎がみられた。

○後天性免疫不全症候群2例：宮崎市保健所管内から報告があった。30歳代，50歳代（各1例）で，病型はAIDS，無症状病原体保有者（各1例）である。指標疾患はサイトメガロウイルス感染症（肺，脾，リンパ節以外）で，主な症状として発熱，汎血球減少がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症1例：延岡保健所管内から報告があった。60歳代で，主な症状として発熱，咳，肺炎，菌血症がみられた。ワクチン接種歴は無しであった。

○梅毒1例：宮崎市保健所管内から報告があった。50歳代で，病型は早期顕症梅毒Ⅱ期であった。主な症状として梅毒性バラ疹，眼症状がみられた。

○破傷風1例：宮崎市保健所管内から報告があった。50歳代で，主な症状として筋肉のこわばり，開口障害，嚥下障害，発語障害，呼吸困難（痙攣性）等がみられた。ワクチン接種歴は不明であった。

○百日咳43例（男性16例・女性27例）：保健所別報告数は【図2】，年齢別報

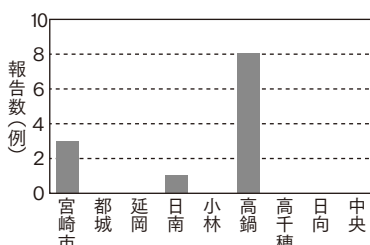


図1 結核 保健所別報告数

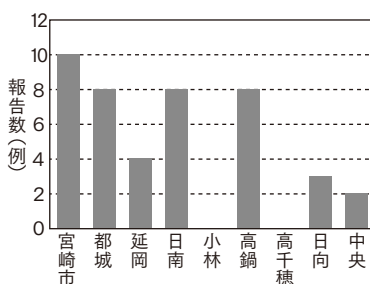


図2 百日咳 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	4
無症状病原体保有者	8

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
40歳代	2
50歳代	4
60歳代	2
70歳代	1
80歳代	3

表3 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	9
5～9歳	14
10歳代	14
20歳代	1
30歳代	1
40歳代	3
50歳代	1

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
ウイルス	アデノウイルス3型	1
	デングウイルス	1
	ヒトメタニューモウイルス	2
	コクサッキーウイルスA10型	1
	コクサッキーウイルスB4型	1
	コクサッキーウイルスB5型	3
	インフルエンザウイルスAH1pdm09	3
細菌	EPEC (OUT:HUT)	1
	EHEC (O157:H7 VT1,2)	2
	Salmonella Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	4
	Salmonella Mbandaka (O7:z10:e,n,z15)	1
	Salmonella Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	2
	Salmonella Oranienburg (O7:m,t:-)	1
	Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	1
	Salmonella Thompson (O7:k:1,5)	2

告数は【表3】のとおりであった。主な症状として持続する咳、夜間の咳き込み、スタッカート、ウーブ、嘔吐等がみられた。百日咳のワクチン接種歴は有（27例）、無（3例）、不明（13例）であった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は2,694人（定点あたり78.3）で、前月の83%、例年の75%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と伝染性紅斑で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザと伝染性紅斑であった。

インフルエンザの報告数は371人（6.3）で前月の約1.4倍、例年の約9.3倍であった。高千穂（11.5）、都城（10.5）、宮崎市（10.2）保健所からの報告が多く、10歳未満が全体の約半数を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は352人（9.8）で前月の約1.3倍、例年の約1.4倍であった。中央（20.0）、日南（14.3）、宮崎市（13.9）の報告が多く、4～6歳が全体の約半数を占めた。

伝染性紅斑の報告数は164人（4.6）で前月の約1.6倍、例年の約2.7倍であった。延岡（12.8）、都城（6.3）、日向（4.8）保健所からの報告が多く、3～5歳が全体の約半数を占めた。

前月との比較

	2019年10月		2019年9月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	371	6.3	274	4.6	★
RSウイルス感染症	227	6.3	1,051	29.2	
咽頭結膜熱	142	3.9	179	5.0	
※溶レン菌咽頭炎	352	9.8	263	7.3	★
感染性胃腸炎	838	23.3	773	21.5	
水痘	33	0.9	21	0.6	
手足口病	160	4.4	122	3.4	
伝染性紅斑	164	4.6	102	2.8	★
突発性発しん	136	3.8	101	2.8	
ヘルパンギーナ	201	5.6	310	8.6	★
流行性耳下腺炎	15	0.4	9	0.3	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	49	8.2	44	7.3	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	5	0.7	3	0.4	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■月報告対象疾患の発生動向〈2019年10月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人（2.7）で、前月比121%と増加した。また、昨年10月（2.0）の135%であった。

《疾患別》

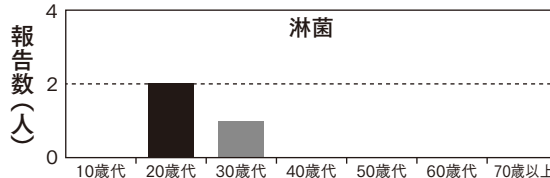
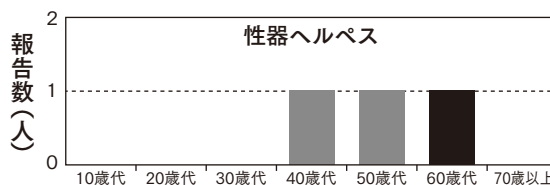
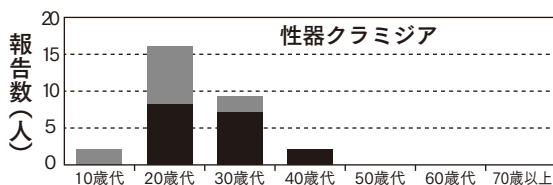
○性器クラミジア感染症：報告数29人（2.2）で、前月の約1.8倍、昨年10月の約1.5倍であった。

20歳代が全体の約半数を占めた。（男性17人・女性12人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人（0.23）で、前月の約0.4倍、昨年10月の0.6倍であった。（男性1人、女性2人）

○尖圭コンジローマ：報告なし。

○淋菌感染症：報告数3人（0.23）で、前月の0.5倍、昨年10月の1.5倍であった。（男性2人、女性1人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は19人（2.7）で、前月比106%と増加した。また、昨年10月（2.3）の119%であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数19人（2.7）で、前月の約1.1倍、昨年10月の約1.2倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

各都市医師会だより

南 那 珂 医 師 会

3年前から年に1回県立日南病院の先生方と南那珂医師会の先生方との懇親会を秋に開催しています。4～5年前会員の先生から「県立日南病院に患者さんを紹介する際、相手の先生の顔も知らないのに紹介状だけで患者さんを送ったり、電話で患者診療の依頼をするのは心苦しい。せめて依頼する先生の名前と顔を知り、自分の顔を相手の先生に覚えてもらえたら、患者紹介がやりやすく、無理なお願いも引き受けてもらえるのではないだろうか。ぜひ顔合わせの場を医師会で企画してもらえないか」という要望があり、県立日南病院院長にご相談申しあげたところ、県病院としても地域医療支援病院の認定をうけるためにも願ってもないことでぜひやりましょうと快諾いただき、今年3回目の開催となりました。県立日南病院からはほぼ全診療科の先生方と研修医の先生が参加して各診療科毎にスタッフと診療体制を紹介、医師会からは理事と日頃県病院にお世話になっている先生全員が自己紹介した後、和気あいあいとした雰囲気の中で相手方への要望等を語りあう場となっています。

県病院には紹介率、逆紹介率の向上維持等々、医師会員には紹介する際の敷居が低くなる等病診連携の推進という意味で双方にとって有意義な会であり、今後も継続していくことがお互い意志確認されており、来年は更に参加者を拡張したいと考えております。

(中村 彰伸)

宮 崎 市 郡 医 師 会

医師会病院関連施設の移転新築に向けて隔月に建設推進委員会を開催しているが、去る10月23日開催当日の朝、建設資材を運搬するトレーラーが建設現場近くの取り付け道路上で出火して運転席が炎上した。委員会に先立ち、建設会社から「原因は、運転手が閉鎖された運転席で缶スプレー型のパークリーナーを噴霧して車内を掃除して間もなく、タバコに着火しようとした際に引火・爆発したため」との説明がなされた。幸い軽度の熱傷ですんだようで、資材にも影響はなかったので、出席者一同胸を撫で下ろしたが、来年8月1日の開院まで無事故で漕ぎ着けるよう祈念している。

(山村 善教)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

私は病院部会および産業医労災部会の担当理事をやっております。今回は都城市北諸県郡医師会病院部会についてご紹介します。

当医師会病院部会は、理事会、記念講演会、総会を毎年行っております。理事会では県医師会病院部会と同様、当医師会も昨年度より若返りが図られております。今年の記念講演会は、鹿児島大学より西順一郎教授をお招きし、抗菌薬適正使用の基本についてご講演をいただきました。なお、総会では都城市保健所職員による医療監視について説明をしていただいております。

今後の問題点として、国による病床削減と職員高齢化および当医師会看護学校入学者減少もあり、看護職員雇用は深刻なものとなっていくのではないかと思います。

(隅 清克)

延岡市医師会

9月22日午前、延岡市内で台風17号が原因と思われる竜巻が発生しました。JRの鉄塔が倒れる、店や家の窓ガラスが割れる、車が横転するなどの被害が発生しました。延岡市では1993年と2006年にも台風による竜巻が発生し、特に2006年のものは九州の統計史上最大級のものと言われています。今回はそれに比べると人的被害も軽度でしたが、今後甚大な被害が発生するケースも十分に考えられます。改めて医師会と行政との連携の重要性を考えさせられました。

(市原 久史)

日向市東臼杵郡医師会

ICT基盤の高度化により地域連携が広域化する時代、当管内ではモバイルシステムの有効活用を模索しています。現在、日向市では救急車内で心電図を記録し、それを伝送して判読することが可能ですが、体制が十分でなく、有効活用されていない現状です。

急性心筋梗塞などの場合、モバイルで心電図診断し、直接搬送できれば、時間的ロスも抑えられ救命率向上にもつながります。循環器病対策基本法が施行され、地域医療資源の広域化の条件も整いつつあるなか、行政や高次医療機関とも連携し、時代の波に乗りたいものです。

(今給黎 承)

児湯医師会

児湯医師会には准看護学校が併設されており、毎年約20人が卒業し、近隣の医療機関で働かれる方が多いようです。ただし児湯地区では慢性的に准看護師や看護師不足が続いており、また県内のいくつかの地区の准看護学校で定員割れしているようですので、今後も准看護師不足に拍車がかかると思われます。

当学校も毎年かなりの赤字を計上して児湯医師会の財政を圧迫している状態ですが、現

状を考えるとまだまだ頑張っ続けていかなければいけないと思う次第です。

(谷畠 満)

西都市西児湯医師会

台風15号や19号の被害状況を見て、自然災害の恐ろしさを体感し、また、防災について新たに考え直した10月でした。宮崎でのインフルエンザ感染が早々に出たことで、インフルエンザの予防接種をいつもより早めに開始しましたが、今年は暖冬とのニュースを聞き、少し安堵しています。西都市では、西都児湯医療センター新病院建設について、地元医師会・市・医療センターの三者協議が現在中断しています（協議内容がないという理由で?）。市は、地元住民に対し、現在の状況や今後の方針について説明会を開く予定ですが、当医師会としてはより良い新病院を建設するため、協議を重ねていきたいと考えています。

(上野 尚美)

西諸医師会

10月17日、「結netにしろホームページ」の説明会が行われ、いよいよスタートした。平成26年3月に当医師会が発行した「西諸地域在宅医療・介護連携資源マップ」に代わり、今後2市1町の西諸地域の地域包括ケアシステムとして医療と介護の情報交換の「場」となる。この「場」を活かす鍵は「モチベーション」である。一人でも多くの方々に参画していただき、互いに情報を交換していただく「場」とする。そのためには「場」に常に新しい情報を揃え、参画を促す「モチベーション」をいかに高めるしかけを施すかが要となる。そして永続的な「場」の改善活動が必要であることは言うまでもない。今回のホームページ発足が最終的に地域住民の安心・安全に寄与することを願う。

(園田 定彦)

宮崎大学医学部だより

内科学講座 －神経呼吸内分泌代謝学分野－

当教室は神経難病などの特殊な疾患（特定疾患333疾患のうち当科が関係するものは108疾患）も含めた、幅広い領域を担当する診療科で、ワンチームとなって医療に取り組んでいます。内分泌・代謝・糖尿病内科を中里雅光教授、山口秀樹学部准教授、米川忠人学部講師、上野浩晶学部講師、迫田秀之講師、野田智穂助教、神経内科を塩見一剛准教授（副科長）、望月仁志講師、小川剛助教（教育医長）、呼吸器内科を松元信弘助教、飯干宏俊助教（外来医長）、柳重久助教（医局長）、坪内拡張助教、小田康晴助教（病棟医長）が担当しています。

教室の目標は、「次の時代を担う内科医の育成と社会のニーズに応える医療の展開」と「住み慣れた地域で安心して医療が受けられる態勢の構築」です。前回寄稿以降の7年間で36名が入局しました。そのため、各地域の国・公立病院や民間病院に専門医や若手医師を増員することができ、県内での医療態勢を拡充しています。また、国立がんセンターや虎の門病院などへの若手医師の国内留学も行ってきました。教室開設時からの当科出身のOBの先生方が、宮崎県の医療の最前線や医師会でご活躍されていることも、教室の大きな財産となっています。

当科の平成30年度外来初診者数は1,347名、病床稼働率は99%（年末年始を除く）で、第三次医療機関として脳炎や重症呼吸不全、糖尿病性ケトアシドーシスや甲状腺クリーゼなどの急性期疾患を中心に、多岐にわたる患者さんを常

時受け入れています（平成30年度新患入院患者数916名）。肺癌や糖尿病は毎年、市民公開講座を開催し、一次予防の啓発活動を拡げています。

中里教授は、学会会長として日本神経内分泌学会（2013年）、日本肥満学会（2014年）、日本内分泌学会（2018年）を宮崎市で主催しています。2017年に日本内分泌学会学会賞、2018年に日本肥満学会学会賞と日本神経内分泌学会学会賞を受賞しています。また、当科の中堅・若手医師や研究者コースの学生が日本内科学会、日本呼吸器学会、日本内分泌学会、日本糖尿病学会で受賞しています。

中里教授が研究代表者を務め、全国の大学や国立がんセンターが分担研究施設となっている国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）から採択された3つのプロジェクトが進行中です。AMED-CRESTの「自律神経・ペプチド連関を基軸とするエネルギー代謝と免疫制御機構の解明」、次世代がん医療創生研究事業と革新的がん医療実用化研究事業での「肺癌と膵臓癌の新規早期診断マーカー開発研究の企業化」です。AMED-CRESTでは、2020年1月にシーガイアで6名の海外招聘演者を含む国際シンポジウムを開催します。また、AMEDの二つのがん研究では、肺癌と膵臓癌の新規早期診断マーカーを発見し、国際特許出願と企業への導出を行っています。

大学病院の役割は高度医療の実践、卒前卒後教育、地域貢献、先進医療の創成、世界への研究発信にあります。医師会員の先生方と協力して進めていきたいと考えています。今後ともご指導よろしくお願いいたします。

（医局長 柳 重久）



大学病院で勤務している当教室のメンバー

部会だより

園 医 部 会



はしぐち けんえい

橋口 兼英 部会長

宮崎県医師会園医部会は、保育園(所)・幼稚園などの乳幼児保健衛生の向上発展並びに当該園全職種との連携・研修および相互の協力を図ることを目的に、平成11年に発足し、現在178名の保育園・幼稚園の園医

で構成されています。

園医部会は毎年6月に理事会を開催し、前年度の事業報告・歳入歳出決算・次年度の歳入歳出予算案を承認していただいています。理事会での主な議題は総会・研修会で行われる講演会の講師選定です。保育園・幼稚園のスタッフにも多数出席してもらえるよう分かりやすい内容で、土曜日の午後に開催しています。

平成30年度園医部会総会・研修会は平成30年9月8日に227名の出席で行われました。特別講演Ⅰは児玉小児科の児玉隆志先生(都城市)に「食物アレルギーの基本的な考え方と最近の話題」として、「食べた方がよいのか? 避けた方がよいのか?」食物アレルギーに対する考え方はここ数年で大きく変化しています。スキンケアの重要性やできるだけ乳児期早期に多項目の食品を摂取することの重要性などが報告されています。食物アレルギーの基本的な考え方、診断、検査、治療について説明し、園や学校と医療機関の連携の重要性についてお話ししていただきました。特別講演ⅡはUTAKATA DENTAL OFFICE佐々木歯科の佐々木洋先生(東京都)に「口から育つところと身体ー乳幼児の子育ち支援」として、栄養を摂り込む窪みとして発生した口だが、人の口には六感を駆使して“味わう”とか、“笑う”“泣く”の感情表現や

“話す”など、他者との共感がうまれる生活機能が詰まっている。乳幼児期の口の発育は目覚ましく、容積増大や歯の萌出だけでなくその機能も著しく発達する。日々の生活で口の働きが十分に活かされ、こころと身体そして行動が育つよう支援するパラダイム「口腔成育」を紹介していただきました。

令和元年度園医部会総会・研修会は令和元年9月14日に241名の出席で行われました。特別講演Ⅰは医療法人社団大和会大塚病院形成外科の大塚康二郎先生(西都市)に「幼少時のけが・やけどの初期対応〜知っておきたい一般疾患も含めて〜」として、幼少時の外傷は、傷の痛みに加え、不安と恐怖が強いため子どもから正確な情報を取ることが難しく、園や学校・家庭で外傷が起こった際には、保育士や教師・家族の知識が必要になり、初期治療や医療機関の選択をしなければなりません。形成外科の観点から外傷の初期治療やその後の対応について、また園や学校での先天奇形に関する対応もお話ししていただきました。特別講演Ⅱは医療法人一誠会都城新生病院精神科・児童精神科の河野美帆先生(都城市)に、「発達障害の子ども達へのサポート〜児童における精神医療の現状と課題〜」として、周りに馴染めない? ほかに子どもとどこが違う? 発達障害ってそもそも何? 世の中で「発達障害」という概念が知られるようになり、耳にする機会が増えてきています。発達障害の子どもたちへのサポート、現状や課題についてお話ししていただきました。

当研修会はテレビ会議で各郡市医師会に同時放映されており、年毎に参加者が増えていきます。今後とも園医部会をよろしく願います。

－ 各種委員会 －

介護保険委員会

と き 令和元年10月17日(休)

ところ 県医師会館

(テレビ会議 都城, 延岡, 西都)

石川常任理事の司会により開会, 牛谷委員長の進行で議事に入った。

1 認知症地域医療支援事業について

石川常任理事より, 県からの委託を受け実施する認知症地域医療支援に係る下記4事業について説明があった。

- (1) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修事業
- (2) かかりつけ医認知症対応力向上研修事業
- (3) 医療従事者向け認知症対応力向上研修事業
- (4) みやざきオレンジドクター普及事業

2 令和元年度主治医研修会について

まず, 石川常任理事から, 研修の目的や留意点について説明があった。その後, 今年度の研修内容について検討が行われた。

研修会の日程は, 令和2年1月20日(月)に県医師会館にて開催する。内容については, 例年同様, 県長寿介護課より介護保険制度および要介護認定等についての説明を行い, 下記3つの事例検討を実施することとなった。詳細は, 委員長および担当理事に一任された。

- (1) 介護認定審査会の設置者(市町村担当者)の立場から



- (2) 第2号被保険者の特定疾病の診断基準について

- (3) 認知症患者の主治医意見書の書き方について

3 その他

牛谷委員長から, 自治体からの困難な要求によりケアマネジャーが疲弊し, ケアマネジメント業務を辞めてしまう実態があるとの問題提起があった。医療と介護の連携に欠かさない重要な職種であるため, 各医師会において自治体とケアマネジャーとを仲介する役割を担ってほしいとの意見があった。

出席者－牛谷委員長, 瀬ノ口副委員長,

榎本・三股・谷島・上山・中島委員
(県医) 石川常任理事, 立元・川野・
米澤理事, 久永課長, 野尻課長補佐

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
b	b	e	a, e	d	e	b	b	a

日本医師会 医業の第三者承継フォーラム

と き 令和元年9月26日(休)

ところ 日本医師会館

少子高齢化・人口減少社会において、地域医療体制を維持するため、地域における医業の承継のあり方について検討するために開催された。

1 厚生労働省の取組み

厚生労働省医政局医療経営支援課

1) 中小企業・小規模事業者の再編・統合等に係る税負担の軽減措置について

後継者が不在のため事業承継が行えない場合、経営資源や事業の再編・統合を図ることにより、事業の継続・技術の伝承等を図ることが重要である。医療機関においても同様であり、この制度において認定を受けた経営力向上計画に基づいて、再編・統合を行った際にかかる登録免許税や不動産取得税を軽減している。

2) 医師少数区域等における医療法人の承継税制について

令和2年度税制改正要望事項である。医師少数区域等においては、人口減少による潜在的な患者数が減少しており、医療機関の経営者はリタイアを契機として、医療事業の継承をせずに廃業する可能性が高まっている。医師少数区域等にある医療機関について、一定期間の事業継続等を要件として、医業継続に係る相続税、贈与税の納税猶予等の特例措置を講ずる要望をしている。

2 モデル事業の実施状況について

秋田県医師会とエムスリー株式会社から、第三者承継トライアル事業の説明があった。今年度はじまった事業で、秋田県医師会とエムスリー株式会社が連携協定を結び、セミナーの開催やエムスリーの会員データベースを生かし後継者探索支援を行っていく。

3 都道府県医師会の取組み

東京都医師会、岡山県医師会、福島県医師会から医業承継支援の取組みの発表があった。

東京都医師会は平成30年から総合メディカル社と提携し医業継承セミナーと個別相談を2回実施しており、2件の継承が実現している。岡山県医師会は平成28年から医院承継バンクを設置した。譲渡希望の医療機関、開業希望医の登録は数件あるがマッチングには至っていない。福島県医師会は今年2月に医業承継バンクを設置し、譲渡希望8件、開業希望医9名で、面談を1回行っている。

4 日医総研による研究の発表

日医総研主任研究員

医業承継に関する医師会の取組みに関する調査報告があった。都道府県医師会で医業承継マッチング業務や専門家の紹介、個別案件支援のいずれかを行っている医師会は47都道府県医師会中7医師会であった。28医師会では特に対応していなかった。医療機関に対する調査の中間報告では、後継者候補がいらないとの回答が約半数であった。また承継プランの相談先としては顧問税理士との回答が4割、都市医師会との回答が3割であった。

5 医業承継上の諸問題について

税理士法人青木会計代表社員 青木恵一

税理士・行政書士である講師から、個人立の医療機関、医療法人立の医療機関ごとに、医療機関の廃止・開設手続きや医療機関に係る債務・資産に関する注意事項、譲渡にかかる税金に関する説明等があった。

出席者－小牧常任理事、山内事務局長
(テレビ会議)石川常任理事、
久永課長、松本課長、田崎主事

令和元年度女性医師支援センター事業 九州ブロック別会議

と き 令和元年10月19日(土)

ところ KKRホテル熊本

開会にあたり、福田稠会長（熊本県医師会）、平川俊夫常任理事（日医）より挨拶があり、次第に沿って、報告、協議が行われた。

報告・協議

1 日本医師会女性医師支援センター事業について

平川常任理事（日医）より報告があった。2018年度の女性医師バンク登録者数は、2016年度より6倍の301名となった。新たな取り組みとして、各都道府県医師会に女性医師バンクの担当者の設置、県外・県内の移動に対応できるよう情報の共有化、医師会と女性医師バンクの連携が挙げられ、今後は、女性医師支援にとどまらず、シニア医師や医業継承支援への事業展開を行っていききたいとした。

また、国に対する2020年度の概算要求要望では、院内保育・病児保育の充実に向け、院内保育所の無償化の対象を0～2歳に拡大することや、小児デイケア・ショートステイ施設等の整備を挙げる予定である。

2 地域でも活躍できる環境の好事例について

1) 福岡県

女性医師のキャリア形成支援事業としては、女性医師交流会のほか、日中に子連れで参加できる「つながろカフェ」を開催し、子育て中の働き方等について情報交換を行った。

2) 鹿児島県

鹿児島県医師会では、卒業証書授与式で女性医学生へ県医師会からのお祝いのメッセージを配布している。



また、独自で行った、家庭内の男女共同参画に関するアンケート調査では、短時間勤務を行うことで家庭とキャリアの両立を図ることや、男性の家庭内参画も課題となることが述べられた。

3) 佐賀県

学童保育に関する佐賀県の特徴は、私設の学童保育が少ないこと、シッター業者が少ないことである。病院ごとの学童保育施設の開設予定はなく、理由として、場所がない、指導者の雇用が難しいことが挙げられた。今後は、佐賀県が設置している「地域de子育てシェアエコ実証事業」を活用していく予定である。

また、佐賀大学が設置しているダイバーシティ推進室の取り組みとして、育児短時間勤務取得可能対象の拡大や、短時間勤務の勤務形態の柔軟化を提案したところ、改善されたという報告があった。

4) 宮崎県

宮崎県は、保育士は常駐しないが保育室を設置している民間病院を例に挙げ、保育場所を確保し、必要に応じて保育士を派

遣する体制を作ること、どの病院でも病児病後児保育が行えるのではないかと提案した。学童保育については、宮崎大学医学部附属病院の就学時一時預かり室等を紹介した。また、保育支援事業については、女性医師保育サポート会員養成講座関連イベントの報告を行った。

5) 沖縄県

地域でも活躍する支援として、北部地区医師会病院を例とし、職場の良い雰囲気づくりや、託児施設の設置を挙げ、医師の働き方改革に向けた取組みを実施していくことを述べた。

6) 大分県

現在、基幹型臨床研修病院のうち、学童保育があるところは2病院で、両病院とも併設の老健施設での預かりを行っている。今後の学童保育の開設予定はなく、理由として、場所、資金がないことが大きな理由となった。

7) 長崎県

長崎大学では、子育て中の女性医師への緩和措置を全員に適用すると医局運営が困難になるということで、可能な範囲で土日勤務や金曜当直等を入れ、徐々に平常化を行いフル勤務する女性医師を増やしていきたいと述べた。また、長崎大学は病児病後児保育施設開設に向けても準備中である。

8) 熊本県

開催県である熊本県は、各県のアンケート調査のフィードバックを行った。院内保育は整備されてきているが、病児病後児保育は整備されているところが少ないこと、学童保育は開設困難と回答した医療機関が98%を占めており、開設困難の理由として場所がないことが最も多く挙げられた。

その他、中学生以上を子育て中の女性医師



は臨床研修病院で勤務できていない可能性が明らかになったこと、学童保育が開設するのであれば、夏休み等の長期休暇や臨時でのお預かりや、19時までの預かり希望が最も多いことが挙げられ、全国的な学童保育のニーズ調査と整備の必要性を述べた。

3 ディスカッション・情報交換（質疑応答・日本医師会への要望、提言等）

「地域でも活躍するにはどのような支援が必要か」と題して意見交換を行った。学童保育については、地域で差はあるものの設置の必要性はあるとし、行政への働きかけも行っていかなければならないとの意見が出た。また、働きやすい環境を整え、職場の雰囲気をよりよくするために、上級医師からのサポートが重要であるとし、上級医師に対する研修会を行う必要性も挙げられた。日本医師会への要望として、自治医大や地域卒の先生方とピアミーティングやアンケート調査を行うなどし、地域で働く女性医師の生の声をしっかりと聴いてほしいと要望が挙げられた。

4 次年度の開催県について

次年度の当会議は、福岡県が担当県となり開催することが承認された。

最後に、宮本憲司朗常任理事（熊本県医師会）の挨拶をもって閉会した。

出席者－荒木・金丸常任理事、山本主事

第41回産業保健活動推進全国会議

と き 令和元年10月10日(木) 13:00～17:30

ところ 日本医師会館

1 開 会

挨拶 加藤 勝信（厚生労働大臣）

横倉 義武（日本医師会長）

人口減少社会において、人生100年時代を見据えた取組みがさまざま行われている。社会の活力の基盤である労働者の健康管理が非常に重要な課題である。産業保健活動の推進は、労働者の健康保持増進を通じて、わが国の持続可能な社会の構築に大きく貢献をするものと確信をしている。労働者それぞれの事情に応じた多様な働き方を実現する働き方改革を総合的に実現するため、時間外労働の時間の上限についての新たな制度に加え、産業医、産業保健機能の拡大といった健康確保措置の充実などが掲げられている。働き方改革を機に、産業医の先生方や産業保健活動総合支援事業に期待する役割はますます増大をしているが、産業医に関する組織活動の実態調査では、特に職務の多様化と負担増、産業医の地位向上に関して多くの意見が挙げられた。こうした背景から産業活動を支援する体制の整備が急務となっている。そのためには、産業保健活動に取り組んでいるさまざまな組織が一致団結をして活動をするのが重要である。

2 産業保健総合支援事業に関する活動事例報告

1) 神奈川県産業保健総合支援センターの両立支援に係る取組について

西尾 泉

神奈川県産業保健総合支援センター
産業保健専門職

2) 福岡産業保健総合支援センターの両立支援に係る取組について



三谷 梨紗

福岡産業保健総合支援センター
労働衛生専門職

3) 西脇地域産業保健センターの活動について

二宮 利春

西脇地域産業保健センター
コーディネータ

4) 徳山地域産業保健センターの活動について

岸野 朝子

山口産業保健総合支援センター
産業保健専門職

センターと医療機関などの連携による両立支援相談窓口の体制、啓発セミナーの開催など周知活動やコーディネータの養成、個別訪問支援に関する活動報告、それぞれのセンターの活動状況に関して、個別訪問支援に係る活動実績やコーディネータ相談対応実績などについて報告があった。

3 シンポジウム

ー産業医が安心して活動に取り組める環境の整備ー

1) 産業医組織化への期待

井内 努

厚生労働省労働基準局安全衛生部

労働衛生課長

改正労働安全衛生法の概要について、産業医の権限や勧告の実効性が強化されたことなどの説明があった。また、産業医の組織化について産業医が情報交換を行い、技能を磨く場を作っていただくことに期待をし、国としても協力していくとのことであった。

2) 産業医の組織化による支援体制の確立

ー産業保健委員会中間答申を受けてー

松本 吉郎 日本医師会常任理事

日医の産業保健委員会が実施した調査による結果を中心に報告があった。産業医に関する会議体として、産業医部会や産業保健委員会、連絡協議会など多くの都道府県医で設置されていた。産業医の組織化に向けて必要性を感じる施策としては、eラーニングの新設、産業医からの相談対応、産業医経験のない認定産業医を対象とした実践研修などの意見があった。これらの意見を受け、産業保健委員会では全国組織と事業内容の案を中間答申としてまとめたとのことであった。

3) 産業保健総合支援事業の充実強化

有賀 徹

労働者健康安全機構理事長

労働者数50人未満の事業所で働く人々に対して、労働安全衛生法で定められた保健指導などの産業保健サービスを充実するためには、地域産業保健センターなどの産業医の活用や産業医と当該地域の医療機関との連携が不可欠であり、センターの登録産業医の活性化が必要であると報告があった。また、中小企業者向けのリーフレットを作成し、セミナーも開催しているとのことであった。

治療と仕事の両立支援については、両立支援コーディネータ養成研修を実施し、当初の養成目標は達成されたが、全

国の医療機関数と比較するとまだ足りないのが現状であり、今後も各地で開催し充実を図っていくとのことであった。

4) 産業医のスキルアップ

ー産業医の全国組織化を見据えてー

(1) 産業医学に関する教育機関の立場から

東 敏昭 産業医科大学学長

産業の全国組織化を見据えて産業医のスキルアップに取り組むとの説明があった。

(2) 産業保健に関する学術団体(学会)の立場から

森 晃爾 日本産業衛生学会副理事長

産業保健衛生学会の活動方針として、国内外のすべての働く人を対象とした産業衛生の推進を基盤とした学術活動や実践活動、人材の育成と多様化などに重点的に取り組むと説明があった。

4 協 議

問1 面接指導のシステムについて

常総地域産業保健センター(茨城県)

労働安全衛生法では、長時間労働にかかる面接指導は、事業者が認めた労働時間に基づき面接指導を実施することになっている。その事業者の責務として行う面接指導の流れの他にも事業者を通さない労働者の意向だけで面接指導を受けられる流れ、システムを構築していただけるように労働安全衛生法の改正を検討できないか。

井内労働衛生課長 事業者を通さない面接指導については、労働安全衛生法第13条に必要な体制の整備を、事業者の努力義務で行うこととしているため、企業での体制整備が推進されるように周知活動を行っていく。

問2 事業者が労働基準監督署へ提出する産業選任報告の添付書類について

(栃木県医師会)

医師免許証の偽造問題や医師資格証の普及などを鑑み、産業医選任報告へ

の添付書類に日医認定産業医は認定証の写しを添付すれば、医師免許証の写しを省略できるように改善をお願いしたい。

井内労働衛生課長 労働安全衛生規則第14条第2項に規定するものには、日医の産業医学基礎研修を修了したもののほか、産業医科大学の基礎講座修了者や労働衛生コンサルタントなど、該当修了証のみでは医師資格が確認できない。また、確実に産業医の選任ができているのか確認をする観点から医師免許証の写しを添付した報告書の提出を求めている。今回提出いただいたご意見については、どのように対応できるか再度検討していきたい。

問3 治療と仕事の両立支援について

(埼玉県医師会)

1) 診療報酬「療養・就労両立支援指導料」について

がんと診断された患者で産業医が選任されている事業場に限定されているが、産業医がいないような小規模事業場においても本指導料の算定が可能となるような議論が必要ではないか？

井内労働衛生課長 本分野においては、これから発展していく中で試行錯誤を繰り返し、今後も検討されていくものと考えている。労働衛生課としても関係部署に必要な情報を提供するなど、より良い制度にしていけるようバックアップしていきたい。

松本日医常任理事 日本医師会が要望して、認められた診療報酬であるが、現時点では算定件数が少ないことが課題である。現在では50人以上の事業場が対象となっているが、50人未満が非常に多いため、このような事業場も算定できるようにできないか、また疾患の範囲も拡大できないか考えているところ

である。

2) 主治医と産業医の連携について

両立支援を円滑に進めていくためには、新たに地域における主治医産業医間の連携体制の構築が必要ではないか？

井内労働衛生課長 治療に精通している主治医と産業保健に精通している産業医が連携することが治療と仕事の両立支援には重要である。そのため、両者の連携を補助する存在として両立支援コーディネータを養成するとともに、労働局に対して地域両立支援推進チームを設置し、その構成員として県医師会、関係団体の推薦者を参集することを指示している。今回ご提案いただいた方策も含めて検討していきたい。

大西労働者健康安全機構理事 今年の7月に日本医学会連合に文書により両立支援制度にかかる主治医向けのシンポジウムや講演などの開催協力依頼を行った。主治医への周知活動はさまざまな機会で行っていきたいと考えている。

当機構は、患者を中心に主治医と産業医および事業場の間の情報共有をして仲介調整を行う両立支援コーディネータの養成を担っている。両立支援コーディネータ基礎研修を、今年度はすべての都道府県で開催していく。両立支援コーディネータを養成することで、治療と仕事の両立支援が促進されるものと考えている。

問4 教育職員の健康管理について

(岡山県医師会)

産業医の選任の必要がない職員50人以下の学校において、教職員の健康管理を学校医が行うべきか、教育委員会が選任した産業医が行うべきなのか。

井内労働衛生課長 産業医が選任されて

いる場合には、産業医が教職員の健康管理を行っていただく。50名未満の学校については、教職員の健康管理を行うために必要な医学知識を有する医師に、健康管理の全部もしくは一部を行っていただくことになっているので、その医師を学校医と定義すれば、学校医でも構わない。この選任については、市町村の教育委員会、学校が主体となって判断することになっている。

松本日医常任理事 学校設置者に教職員の健康管理を行う責任がある。そのことを踏まえ、どの医師に健康管理を行ってもらうのか選定する義務がある。

5 閉 会

出席者－富永・山元・黒田・新

地域産業保健センターコーディネータ
佐々木(幸)常任理事、田崎主事

11月のベストセラー（宮崎県）

集計：2019年11月1日～11月26日

1	人 間	又 吉 直 樹	毎日新聞出版
2	白銀の壺玄の月③④	小 野 不由美	新 潮 社
3	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディみかこ	新 潮 社
4	白銀の壺玄の月①②	小 野 不由美	新 潮 社
5	ケーキの切れない非行少年たち	宮 口 幸 治	新 潮 社
6	日本国紀の天皇論	百 田 尚 樹	産経新聞出版
7	自分のことは話すな	吉 原 珠 央	幻 冬 舎
8	歎異抄をひらく	高 森 顕 徹	一万年堂出版
9	世界一美味しい手抜きごはん	はらぺこグリズリー	KADOKAWA
10	ひとりで生きる	伊 集 院 静	講 談 社

第2回外国人医療対策会議 (都道府県医師会外国人医療対策担当理事連絡協議会)

と き 令和元年10月11日(金)

ところ 日本医師会館

松本常任理事(日医)の進行により開会し、横倉会長(日医)より挨拶があった。また、自見参議院議員は公務のため、会の途中での挨拶となった。

1 国からの情報提供 厚生労働省医政局総務課

厚生労働省より報告および今後の取組みについて説明があった。医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査では、回答があった病院のうち、約50%で外国人の受入があったこと、医療通訳、電話通訳、自動翻訳機デバイス等の多言語化整備状況は、約70%の病院が何らかの形で行っていること、訪日外国人旅行者に対する診療価格は、約90%の病院で1点あたり10円、または消費税込みで10.8円か11円としていること、医療通訳の費用を訪日外国人旅行者へ請求している病院は約1%であること、未収金の発生状況においては、約17%の病院が未収金の経験があること等の結果が報告された。

今後は、外国人受入拠点医療機関の取りまとめおよび更新や都道府県における連絡協議会の設置を支援していくと共に、新規実施事業として、希少言語に対応可能な遠隔通訳のサービス、医療コーディネータ等の養成研修、通訳機能を備えたタブレット等端末の配置等を行っていく予定である。

2 都道府県医師会の報告

1) 外国人医療対策委員会訪日外国人WG

まず、入国審査においては、不払い実績

者の入国審査の厳格化として、不払い経歴のある外国人観光客の情報を集約し法務省に通知する体制の確立、入国後の支払いに関しては、医療機関におけるキャッシュレス化および外国人への自由診療の相場の説明の必要性、出国後の問題では、誤訳に関する紛争や未収金等の課題が挙げられた。

2) 広島県医師会の取組み

広島県は、多様な関係者による広島県外国人医療対策協議会を設置し、令和元年9月に第1回目の会議を行い、各種情報を共有した。在日外国人に関しては、公益財団法人ひろしま国際センターによる医療通訳ボランティア派遣事業が行われているが、派遣日の5日前までに依頼が必要である。

3) 東京都医師会の取組み

訪日、在日外国人共に多い東京都では、外国人への医療情報提供として、東京都の医療機関及び薬局案内サービス「ひまわりwebサイト」や、医療機関受診のための多言語ガイドブック、相談員が電話で案内を行う外国語による医療情報サービス提供が挙げられた。

4) 福岡県医師会の取組み

福岡県では、今年6月に福岡県外国人材受入対策協議会の設置を行った。具体的支援策として、福岡アジア医療サポートセンターによる医療通訳ボランティア派遣や外国語対応コールセンターが挙げら

れた。

5) 大阪府医師会の取組み

大阪府の令和元年度の取組みとして、大阪府外国人医療対策会議の設置、外国人患者受入拠点医療機関の選定、多言語遠隔医療通訳サービスの普及、トラブル相談窓口運営事業の設置が挙げられた。

3 医療通訳団体等からの情報提供

医療通訳の諸問題として、医療通訳の資格やレベルの設定、通訳費用の負担先、医療通訳とコーディネータの認識の違い等が挙げられた。また、医療通訳を設置する際の最大のポイントは財源であるとし、現在訪日外国人の受入事業のみが使用対象となっ

ている国際観光旅客税に関して、在留外国人の整備事業にも使用できるようにすべきだとした。

4 日本医師会からの情報提供

外国人医療対策委員会中間答申として、現在複数ある外国人受入医療機関リストの在り方の検討、ワンストップ窓口の設置、医療通訳者等の人材育成、感染症対策、地域における外国人医療対策会議の設置が挙げられた。

出席者－日本医師会館－金丸常任理事

県医テレビ会議場－久永課長、山本主事

お知らせ

「日医君」イラストデータ利用許諾申請について



「日医君」宮崎県バージョン

このたび、47都道府県すべての「日医君」が完成いたしました！

「日医君」イラストの素材は「『日医君』イラスト素材利用規約」の範囲内であれば、郡市区等医師会はもちろんのこと、日本医師会員でも無料でご利用いただけます。院内の印刷物やポスター、講演資料、ホームページにもご利用可能ですので、ぜひご活用ください。

(都道府県版だけでなく、基本スタイルの「日医君」もあります。)

(申し込み・問い合わせ先)

日本医師会 広報課 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

TEL:03-3942-6483(直通) FAX:03-3942-7036(直通) E-mail:kouhou@po.med.or.jp

利用規約・利用許諾申請書のダウンロードはこちらから→



宮崎県医師会親善ゴルフ大会

と き 令和元年11月3日(日・祝)
ところ ハイビスカスゴルフクラブ

毎年恒例の親善ゴルフ大会は、爽やかな秋晴れの下ハイビスカスゴルフクラブにおいて開催され、26名の先生方が熱戦を繰り広げました。

競技方法は、18ホールズストロークプレイ、ダブルペリア方式（同ネットの場合は年長者を上位）で、今大会も、来年5月に岐阜で開催される「第4回全国医師ゴルフ選手権大会（チャンピオン戦）」の出場を掛けた戦いとなりました。

団体戦は西諸チームが優勝、個人戦は、年齢別にA・B・Cの3組に分けて行い、A：山村善教先生（宮崎）、B：大崎泰先生（延岡）、C：小島慎平先生（宮大医）がそれぞれ優勝されました。

また、「第4回全国医師ゴルフ選手権大会（チャンピオン戦）」には、棚田敏文先生（宮崎）と小島慎平先生（宮大医）が出場される予定です。

成績は以下のとおりです。

【団体戦】 (敬称略)

	郡 市 名	NET合計	各 郡 市 NET 上 位 3 名					
優 勝	西 諸	215.4	内村 大介	70	吉永 浩介	70.8	前田 譲治	74.6
準優勝	都 城	216.6	野口 晴司	69.8	江夏 剛	72.6	瀬ノ口洋史	74.2
3 位	宮 崎	218.8	阿久根広宣	71.6	棚田 敏文	73.6	原田勇一郎	73.6

【個人戦】

		氏 名	OUT	IN	GROSS	HD	NET	備 考
A	優 勝	山 村 善 教	51	45	96	21.6	74.4	
	準優勝	前 田 譲 治	50	57	107	32.4	74.6	
	3 位	飯 田 正 幸	44	44	88	13.2	74.8	
B	優 勝	大 崎 泰	38	38	76	6	70	
	準優勝	阿久根 広 宣	45	41	86	14.4	71.6	
	3 位	棚 田 敏 文	40	36	76	2.4	73.6	
C	優 勝	小 島 慎 平	35	34	69	0	69	総合優勝
	準優勝	野 口 晴 司	41	42	83	13.2	69.8	
	3 位	内 村 大 介	38	38	76	6	70	
B G 賞		小 島 慎 平	69					
N P 賞		阿久根広宣, 飯田正幸, 江夏剛, 大崎泰, 田口利文, 棚田敏文, 野口晴司, 吉永浩介						

※NP賞は五十音順



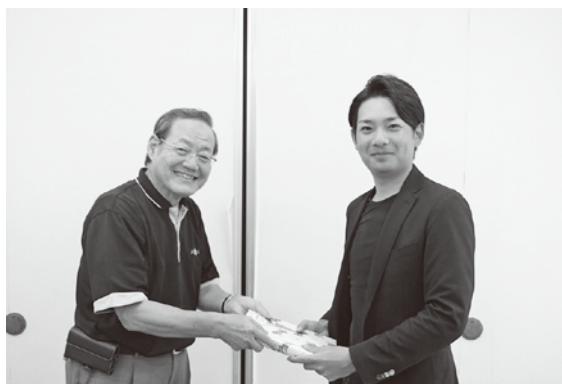
団体戦優勝**西諸チーム**

左から順に、丹光明先生、山村善教先生（主催者）、高崎直哉先生、内村大介先生、前田譲治先生

素晴らしい晴天に恵まれた宮崎県医師会親善ゴルフ大会で、前田譲治先生の匠の技と高崎直哉先生、丹光明先生、吉永浩介先生の気迫のこもったナイスプレー、小生のへたれプレーが見事に融合して団体優勝をさせていただきました。多数の精鋭が参加された中で結果が残せたのは名誉なことで大変嬉しく思っております。

90歳を超えられてなおドライバーの飛距離が150ヤード越えの前田先生に続き、西諸医師会の団体優勝回数を更に増やすことを目標に来年以降も頑張って参加しようとの思いを新たにいたしました。

最後に、河野会長、当日参加の山村副会長をはじめ、例年のように素晴らしい賞品を選んでいただいた県医師会事務局の方々には大変お世話になりました、ありがとうございました。（内村大介）

総合優勝**宮崎大学医学部医師会 小島 慎平 先生**

今年、国家試験に合格し宮崎大学医学部附属病院にて初期研修一年目をしています、小島慎平と申します。このたび、宮崎県医師会親善ゴルフ大会に初参加をさせていただきました。最高のゴルフ日和の下、同伴者にも恵まれて良いスコアで回ることができました。棚田先生、阿久根先生、大崎先生ありがとうございました。当日朝は慣れない場でしたが、皆様が気さくに話しかけてくださったお陰で緊張もほぐれ、良い球でスタートすることができました。

来年5月に開催される第4回全国医師ゴルフ選手権大会では、優勝を目指し万全を期して臨みたいと思います。良い結果報告ができるよう頑張ります。

参加された先生方、運営の皆様、大変お世話になりました。（小島慎平）

日医インターネットニュースから

■賃金上昇「医療従事者にも手当てを」

— 横倉会長、財務省に反論 —

横倉義武会長は11月1日、同日の財政制度等審議会・財政制度分科会で、財務省が2020年度診療報酬改定は本体のマイナス改定とすべきだなどと提言したことを受け、緊急会見を開いた。診療報酬本体が賃金・物価と比べて高い水準にあると財務省が示したことに對し、「どの年度を起点とするかで大きく異なる」と指摘。政府が産業界全体に賃上げを要求しているとし、「医療従事者にも適切な手当てをすることが必要だ。医療従事者だけ取り残されることがないようにしなければならない」と反論した。

財務省の資料は07年度を起点として賃金・物価と比較しているが、第2次安倍政権が充足した12年度を起点とすれば、診療報酬本体は賃金・物価の水準よりも低いと主張した。横倉会長はこれまでも繰り返し同じ指摘をしてきたと強調し、「このような資料は相変わらず恣意的だ」と批判した。医療機関には常勤換算で300万人以上、医療・福祉分野では800万人以上が従事しており、全就業者数の11.9%を占めているとのデータを説明。医療従事者に手当てをすれば、社会保障財源が充実し、経済の好循環を達成できると提言した。特に医療従事者の比率が高い地方の活性化につながるとした。

病院と診療所の間で改定率に差を設けるなど財源配分にメリハリを付けるべきとの提案に対しては「医療機関の診療報酬は中医協で、支払い側と診療側、公益委員の丁寧な議論で決められている」とし、「11月に公表される医療経済実態調査（実調）の結果を踏まえ、医療機関の経営を加味した適切な判断が必要だ」と述べた。一般病院と一般診療所の収益率を見ると、一般診療所が高くなっているとのデータに對し

ては、消費税率を8%に引き上げた際の病院への補填不足が影響していると指摘した。

診療報酬の医科・歯科・調剤の配分についても「実調が出てくる中で、それぞれの経営状況がどうかで考えていくべきものだ。今の時点でこれを大幅に変えるべきだと主張はしない」とした。ただ「実調で一部のところに非常に大きな利益が動いているということになれば、当然、議論の対象になる可能性はある」と述べた。調剤報酬の適正化については、病院薬剤師への評価が課題とし、「今は財源が医科から出ている。どうバランスを取るか。本来は薬剤師の給与で、大きく言えば調剤に含めるべきだ」という考えはある。それは今からの議論だ」と見解を示した。

受診時定額負担の導入については、06年の改正健康保険法の付帯決議で3割負担を維持することが明記されているとし、「これまでの原則を破って患者だけに負担を求めるもので、導入は容認できない」と反対した。地域医療構想の推進については「地域ごとに協議し、地域に合わせた医療提供体制をつくるべきだ」とあらためて主張した。新たに75歳になる人を2割負担とすることに対しては「各世帯の収入状況、金融財産がどのくらいあるかを含めて負担がどうあるべきかを議論する必要があるが、今すぐ2割負担にすることは厳しい」とし、低所得者への配慮を検討することなどが必要だとした。

（令和元年11月8日）

■損益率0.3ポイント改善も依然赤字

— 医療実調 —

厚生労働省は11月13日の中医協総会に、2020年度診療報酬改定の基礎資料となる第22回医療経済実態調査（実調）結果を報告した。

18年度改定前後の2事業年度（17年度、18年度）の損益状況を比較すると、一般病院全体で0.3ポイントのプラスとやや改善したものの依然として赤字傾向が続いている。要因としては、医業・介護費用の中で給与費率の増加が挙げられた。一方で、一般診療所は黒字傾向を維持しながらも、有床診療所の医療法人の損益率は2.0ポイント悪化し、医業収益の伸び率も減少。ただ、入院診療収益がない無床診療所等の医療法人では損益率が0.1ポイントのプラスとなった。

病院の損益状況については、医業・介護収益に占める介護収益の割合が2%未満の病院の集計から一般病院の全体の損益率を見ると、18年度がマイナス2.7%（17年度＝マイナス3.0%）で0.3ポイントのやや改善となった。18年度の平均収支は9637万円の赤字となっている。開設者別では、医療法人の損益率は18年度が2.8%（同2.6%）で0.2ポイントのプラスとやや改善したが、国立はマイナス2.3%（同マイナス2.1%）、公立はマイナス13.2%（同マイナス13.0%）と、赤字幅がそれぞれ拡大傾向にある。

その一方で、公的の損益率はマイナス0.3%（同マイナス1.4%）で1.1ポイントアップし、赤字傾向は続くものの改善された。特に、公的の医業収益の伸びが2.8%で他の伸び率と比べても高い。平均収支では1億2437万円から2378万円に赤字が圧縮している。

18年度と17年度の給与費の伸び率は、一般病院全体では1.8%アップし、18年度の医業・介護費用の55.7%を占めた。医療法人では、2年間の給与費の金額の伸びが2.0%アップし、18年度の医業・介護費用の56.7%を占めた。公立では18年度の費用の60.0%を占めたが、公的では50.8%に抑えていた。精神科病院の損益率は、18年度0.2%（同0.4%）と0.2ポイントのマイナス。実調の大部分は、調査ごとに抽出する調査客体が異なるため単純比較はできないが、精神科病院では、第21回実調での損益率が16年度にマイナス1.1%に転じていた。今回の実調ではプラスの損益率が確認された。

●有床診の損益は悪化、無床診は横ばい

一般診療所の損益状況では、調査に回答した全ての医療機関等の集計値で見ると、入院収益がある有床診療所の医療法人での損益率は、18年度4.1%（同6.1%）で2.0ポイント悪化した。入院収益を持たない無床診療所等の損益率は、医療法人で6.3%（同6.2%）でほぼ横ばい。入院診療収益を持たない個人診療所の損益率も32.0%（同32.0%）で変化はなかった。

有床診では、医業収益の伸び率がマイナス1.1%で、その内訳を見ると、入院診療収益がマイナス1.9%、外来診療収益もマイナス1.5%など軒並みマイナス。平均収支も17年度の1916万円から18年度には1268万円に縮小している。（令和元年11月15日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

私 の 本



宮崎市

おお にし ゆう じ
大 西 雄 二

蘇れ 失語症への取り組み

編集・印刷 宮日文化情報センター

定 価 本体 1,500円（税別）

脳血栓症の発病初期の状況を記録に書き留めようとしても、高次脳機能障害や失語症ゆえに初期には書き留めることはできなかった。ようやく文字が書けるようになり、この本で病気としっかり向きあい、どのような関係をとり続けるべきかを見ておきたい。

なぜ脳血栓症にかかったのか。どのような経過をたどり、また後遺症はどこまで続くのか。私の治療や回復具合を確かめたい。今まで私が経験していないことだらけである。本当に回復したと思われるだろうか？健康な時は健常者の思い上がりで生きてきたように感じる。

私は明確な意志を持っていた。必ず仕事に復帰するという明確な意志を。しかしその道のりは苦難の連続であった。

一生のうちに不幸な時もある。不幸な時に諦めてはいけない。勇気を持って毎日の暮らしに向かい合い、希望を持って生き続けたい。

私と同じように病気をし、後遺症が体に残った方を励ましたい。失語症の方は周囲の無理解で精神的にも辛い思いをするのを知っているからである。脳卒中はもう嫌であるが、人の幅を広げる病気といってよい。

病気の後、人生の意味が全く違ってしまふ。新たな生の世界を踏み出すようなものである。覚悟を持って生きていたい。あらためて多くの人たちのご助力をいただいた。

ようやく「闘病記」を書けた時の例えような喜び。自分の思いを文章に書ける有難さ。自分の精一杯の思いである。表紙の写真は『楠元正輝写真集 写彩浪漫』の「黎明」をいただいた。「黎明」は夜明けを意味している。最もふさわしいと思った。



医師国保組合だより

～保健事業のご案内～

医師国保組合では、各種保健事業を実施しております。それぞれの実施期間および接種期間は令和2年3月末日までです。

1 健康診断

対 象 者	次のいずれかに該当する被保険者の方々です。 ①組合員、高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち、本年度中に満40歳になる方～74歳の方
実施機関	・各地域の健診機関並びに医療機関 ※自家健診は可能です ・宮崎市郡医師会成人病検診センター <日曜日の集団健診> ※予約は当組合にお電話ください。 ①実施日：※子宮頸がん検診・乳がん検診および大腸内視鏡検査は平日のみ 令和2年1月19日(第3日曜日)、2月2日(第1日曜日)、 2月16日(第3日曜日)、3月1日(第1日曜日) ②定 員：各30名 ※日曜日の胃部内視鏡検査はすべての日程が定員に達しましたので申し込みを締め切りました。

※40歳以上の方は特定健診を受けてください。

自院で実施されても特定健診の費用を請求できます。

健康診断結果用紙のコピーを「健康診断個人票」に添付して、当組合に送付していただくだけで結構です。(結果を転記する必要はありません)

※特定保健指導利用券が届いた方は保健指導を受けてください。

2 乳がん検診(マンモグラフィ検査) ※令和元年から実施

対 象 者	女性組合員および年度中に40歳以上になる女性(家族) ※健康診断のオプションとして実施した分が対象となります。
補助金額	自己負担金は1,000円です。※年度内に1人1回のみ申請可 自己負担金を除いた費用は組合が負担いたします。
実施機関	宮崎市郡医師会成人病検診センター、都城健康サービスセンター ※予約は各センターへ直接お申込みください。
申請方法	「乳がん検診(マンモグラフィ検査)にかかる費用補助金支給申請書」にご記入・ご捺印の上、領収書(原本)を添付し当組合に提出してください。

3 その他保健事業

請求方法などの詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業の案内」、または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL: 0985-22-6588 FAX: 0985-27-6550

※申請書は、当組合ウェブサイトからもダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

**令和元年10月1日(火) 第8回全理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 本会外の役員などの推薦について**

①宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会委員の推薦について

→専門的な見地から検診医療機関を指導することなどを目的に設置される協議会で、任期満了に伴う16名の推薦依頼があり、引き続き河野会長、濱田副会長、小牧・石川常任理事、立元・岩村理事を推薦することおよび、残りの10名については現行委員の意向を確認した上で推薦を行うことが承認された。

2. 後援・共催名義など使用許可について

①12/14(土)・15(日) (日向市文化交流センター) 宮崎県作業療法学会の名義後援について

→「リハビリテーション新時代～Dawn of a new era～」をテーマに開催される学会で、名義後援を行うことが承認された。また依頼文に一部誤りがあることから文書を再提出してもらうよう要請することとなった。

3. 10/15(火) (県医) 各都市医師会長協議会に**ついて**

9/17(火)の都道府県医師会長協議会などの報告に加え、都城市北諸県郡医師会から「九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会」、西都市西児湯医師会から「県移植推進財団の賛助会員」に関する議題が提出されていることから、内容を確認後、担当役員が回答することが承認された。

(報告事項)**1. 週間報告について****2. 9月末日現在の会員数について****3. 9/26(木) (県医) 県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医医療事故調査支援委員会合同会議について****4. 9/26(木) (日医) 医業の第三者承継フォーラムについて****5. 9/24(火) (東京) 地域医療構想における具体的な整理に関する説明会について****6. 9/26(木) (県医) 胃内視鏡検診二重読影体制に係る打合せについて****7. 9/25(水) (日医) 都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会について****8. 9/25(水) (日医) 日医小児在宅ケア検討委員会について****9. 9/27(金) (県庁) 県准看護師試験問題調整委員会について****10. 9/28(土) (県医) 県有床診療所協議会総会・講演会について****11. 9/30(月) (県医) 健康教育委員会について****12. 9/25(水) (県医) 健康スポーツ医学委員会について****13. 9/28(土) (県医) 産業医研修会(実地)について****14. 9/28(土)・29(日) (日医) 都道府県災害医療コーディネーター研修について****医師連盟関係****(議決事項)****1. 10/13(日) (ホテルマリックス) 公明党「山口**

「那津男党代表との懇談会」のご案内について

公明党の山口代表の来県にあわせ、経済団体10団体の代表者を中心に開催される懇談会で、河野委員長が公務のため、山村常任執行委員が出席することが承認された。

2. 10/24(木) (東京) 令和元年武見セミナーのご案内について

志公会の麻生太郎会長と武見敬三後援連合会会長で東京都医師政治連盟の尾崎治夫委員長が発起人代表を務めるセミナーで、協力することが承認された。

3. 11/10(日) (東京) 「桜井充と明日の医療を語る集い」のご案内について

行事の関係などで役員が対応することが困難であることから、今回は協力を見送ることが承認された。

(報告事項)**1. 9/30(月) (宮観ホテル) 県経済団体協議会知事との意見交換会について****2. 9/27(金) (宮観ホテル) 三師会懇談会について**

令和元年10月15日(火) 第9回全理事協議会

医師会関係**(議決事項)****1. 医療法人(診療所)における「持分あり医療法人」の「持分なし医療法人」への移行と事業承継に係るアンケート調査について**

現状と課題把握を目的に日医と厚労省が共同で実施するアンケート調査で、要請通り対象となる県医師会の9名の役員がアンケート調査に協力することが承認された。

2. 令和元年度「妊産婦メンタルヘルス対応に係る精神科医療機関アンケート調査」について

市町村と産科および精神科医療機関などとの円滑な連携を目的に、精神科や心療内科を掲げる医療機関を対象に行われる調査で、県がアンケート調査を行うことを了承することとなった。

3. 日本心臓ペースメーカー友の会宮崎県支部顧問の就任幹旋について

現顧問の辞退に伴う後任の幹旋依頼で、現顧問および県内科医会長とも相談の上、宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御学の井手口武史助教を推薦することが承認された。

4. 九州医師会連合会第381回常任委員会・第118回臨時委員総会並びに九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会の開催について

11/15(金)・16(土)に佐賀市で開催される九医連諸会議の出欠確認が行われた。また、河野会長が出席する九医連常任委員会に提出を希望する議題などがある場合には、事務局を経由して会長に届出ることとなった。

5. 九州医師会連合会令和元年度第2回各種協議会の開催種目について

来年2/1(土)に佐賀市で開催される各種協議会で、役員で開催を希望する種目がある場合には、事務局を経由して会長に届出ることとなった。

6. 10/31(木) (都城市) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、佐々木(幸)常任理事を立会人として派遣することが承認された。

7. 令和2年度地域医療介護総合確保基金(医療分)事業提案及び意向調査結果について

各郡市医師会などを通じて照会した結果、事業区分Ⅰ(地域医療構想の達成に

向けた施設整備事業) 2件, 事業区分Ⅳ(医療従事者の確保に関する事業) 1件の申請があり県に提出することが承認された。

また, 病床の機能分化・連携促進基盤整備事業(施設整備・設備整備)に係る調査については, 4医療機関から転換の意向があり, 県に回答することとなった。

8. 業務委託について

①災害時リハビリテーション機能強化事業に係る業務の委託契約について

→地域におけるリハビリテーション機能の強化を図ることを目的に, 被災地支援および被災時対応に特化した研修会を開催する事業で, 契約を締結することが承認された。

9. 令和元年度宮崎県総合防災訓練に係る多数死体検視など訓練への派遣依頼について

県総合防災訓練の中で, 検視・検案訓練に参加する警察関係者を指導する医師の派遣要請があり, 県警察医会に人選を依頼することが承認された。

10. 宮崎刑務所の医務官募集について

宮崎刑務所の医務官が定年のため退職することから, 後任募集のために来会したいとの依頼があり, 本会役員会に併せ日程調整を行うことが承認された。

11. 日本医師会医療IT委員会と九州ブロック医師会情報システム担当理事との懇話会のご案内について

今期第6回の日医医療IT委員会が福岡市で開催されることに伴い, 日本医師会が九州各県の情報システム担当理事との懇話会を企画するもので, 本県から嶋本理事が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 10/5(土)(佐賀)九医連常任委員会について

3. 10/9(水)(支払基金)支払基金幹事会について

4. 10/9(水)(宮大医学部)宮崎大学医学部解剖体追悼式について

5. 10/4(金)(県医)医療安全対策セミナーについて

6. 10/5(土)(佐賀)九医連第1回各種協議会及び報告会について

7. 10/4(金)(県庁)県再犯防止推進計画検討協議会について

8. 10/8(火)(県医)治験審査委員会について

9. 10/11(金)(県医)広報委員会について

10. 10/3(木)(県医)県医療勤務環境改善セミナーについて

11. 10/4(金)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について

12. 10/2(水)(県医)県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について

13. 10/11(金)(日医)外国人医療対策会議について

14. 10/13(日)(福岡)eレジフェアについて

15. 10/10(木)(日医)産業保健活動推進全国会議について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 11/24(日)(東京)「参議院議員羽生田たかし君と明日の医療を語る会」ご協力のお願について

都道府県医師会長や医師連盟委員長などを対象に行われる「全国医師会・医師連盟 医療政策研究大会」の終了後に開催する政治資金パーティーで, 協力することが承認された。

2. R2.1/11(土)(宮観ホテル)令和2年三師会合同新春懇談会の開催について

本医師連盟担当で開催する新春懇談会で, 県歯科医師連盟および県薬剤師会に通知するとともに, 本県選出の国会議員

および県知事らに案内することが承認された。

令和元年10月29日(火) 第12回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

高齢による日医会費減免3名が承認された。

2. 後援・共催名義など使用許可について

① R 2.1/26(日) (ホテルJALシティ宮崎)

九州・沖縄地区リウマチの治療とケア教育研修会の後援名義の使用許可について

→リウマチ性疾患の診療に役立つ知識の普及を目的に開催する研修会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 本会外の役員などの推薦について

①学校給食における食物アレルギー対応委員会委員の推薦について

→学校給食における食物アレルギーの適切な対応を目的に設置される委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、県小児科医会に相談の結果、引き続き糸数智美先生(どんぐりこども診療所)を推薦することが承認された。

4. 11/21(木) (宮崎市) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、岩村理事を立会人として派遣することが承認された。

5. 郡市医師会からの忘年会の案内について

3 郡市医師会から案内があり、日頃のお礼も兼ね可能な限り河野会長と複数の役員が参加できるよう調整することが承認された。

6. 「国民医療を守るための国民運動」の展開について

「持続可能な社会保障制度の確立に向け、適切な財源の確保を国民とともに政府に求める」ことを目的に行われる運動で、本県でも県地域医療・福祉推進協議会代表者会の開催などを通じて協力、対応することが承認された。

7. 12/6(金) (東京) 「国民医療を守るための総決起大会」への参加依頼について

国民医療推進協議会が主催し、東京の憲政記念館講堂で開催される総決起大会に、金丸常任理事が出席することが承認され、加えて動員依頼などもあり参加が可能な役員を募ることとなった。

8. R 2.1/19(日) (日医) 小児在宅医療に関する人材養成講習会の受講者の推薦について

小児在宅医療の人材育成を支える高度人材の養成を目的に開催される研修会で、山崎俊輔先生(たんばぼ小児科)、遠藤豊先生(宮崎生協病院)、三浦拓先生、新森加奈子先生(宮大地域医療・総合診療医学講座)を推薦することが承認された。

9. 11・12月の行事予定について

11月の追加行事の確認が行われ、11月および12月の行事予定が承認された。

10. その他

①宮崎県医師国民健康保険組合事務局の人事について

②国における外国人患者受入れ環境整備について

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 10/16(水) (宮観ホテル) 宮崎市郡医師会10月例会並びにしのめ医学会特別講演会について

3. 10/24(木) (シーガイア) 日本股関節学会学術集会会長招宴について

4. 10/27(日) (シーガイア) 介護支援専門員の
国家資格化に向けたシンポジウムについて
5. 10/25(金) (日医) 日医医師会共同利用施設
検討委員会について
6. 10/19(土) (熊本) 女性医師支援センター事
業九州ブロック会議について
7. 10/23(水) (県医) 広報委員会について
8. 10/25(金) (県総合博物館) 宮崎県ファミリ
ー・サポート・センターアドバイザー等研
修会について
9. 10/19(土) (県医) ICLS指導者養成ワークシ
ョップについて
10. 10/20(日) (県医) ACLS研修会について
11. 10/18(金) (県庁) 県医療計画策定委員会に
ついて
12. 10/28(月) (県医) 県医師会地域医療委員会
・医師確保対策委員会合同委員会について
13. 10/17(木) (県医) 介護保険委員会について
14. 10/26(土) (県医) かかりつけ医認知症対応
力向上研修会について
医師連盟関係
(議決事項)
 1. 11/20(水) (東京) 参議院議員自由民主党財
務金融部会長松下新平君を囲む会について
松下新平参議院議員の国政の場におけ
る更なる飛躍を願い開催される会で、協
力することが承認された。
 2. 11/20(水) (東京) 衆議院議員たけい俊輔君
とともに「正姿勢」で明るい「みらい」を
創る会について
2050年の明るい「みらい」研究会が主
催する会で、祝電対応とすることが承認
された。
- (報告事項)
 1. 10/17(木) (県議会議長公舎) 丸山県議会議
長との意見交換会について

お知らせ

年末・年始の休館について

県医師会館（医師会、医師国保、医師協同組合、病院企業年金基金）は
年末・年始休業のため、下記のとおり休館いたしますのでお知らせします。

期 間 令和元年12月29日(日)～令和2年1月3日(金)
緊急連絡先 総務課長 090-9572-1385
事務局長 090-1514-3220

県 医 の 動 き

(11月)

1	県医療計画策定委員会（金丸常任理事他） （日医）日医設立記念式典・医学大会（会長）
2	県整形外科医会研修会 （日医）人間を中心とした医療国際会議 （佐々木常任理事） 病院部会・医療法人部会合同研修会 （池井常任理事他）
3	（ハイビスカスG.C.）県医親善ゴルフ大会 （山村副会長他） （東京）全国医師協同組合通常総会
5	第13回常任理事協議会（会長他）
7	（日医）日医学術推進会議（会長）
8	宮崎銀行との懇親会（会長他） 県感染症危機管理研修会（TV会議）（高村常任理事） 県個人情報保護審議会（荒木常任理事） 県高次脳機能障がい支援連絡会議（帖佐理事）
9	産業医研修会（TV会議）（佐々木常任理事他） （福岡）日医医療IT委員会と九州ブロック医師会情報システム担当理事との懇話会（嶋本理事）
10	（高原町）県防災訓練（小牧常任理事） 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会（石川常任理事）
11	みやざき愛の献血運動推進県民大会（荒木常任理事） 宮大医学部附属病院医師研修管理委員会（会長） 生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）（TV会議）（金丸常任理事）
12	勤務医部会理事会（山村副会長他） 県地域医療対策協議会（会長他） 治験審査委員会（荒木常任理事他）
13	広報委員会（荒木常任理事他） 支払基金幹事会（会長）
14	県医中間監事監査（会長他） 県産婦人科医会常任理事会（嶋本理事） 県社会福祉審議会児童福祉専門分科会検証部会（高村常任理事） （日医）日医産業保健委員会（佐々木常任理事）
15	（佐賀）九医連常任委員会（会長） （佐賀）九医連臨時委員総会（会長他） 県国保運営協議会（小牧常任理事） 県訪問看護推進協議会（池井常任理事）
16	（佐賀）九医連委員・九州各県役員合同協議会 （佐賀）九州医師会総会・医学会

16 17	（京都）日医医師会将来ビジョン委員会（大塚理事）
17	（佐賀）九医学分科会・記念行事 世界糖尿病デー県民公開講座
18	医学賞選考委員会（小牧常任理事） 宮崎地方労働審議会（佐々木常任理事） 県医療審議会（会長他） 生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）（TV会議）（石川常任理事）
19	県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会（会長他） 第10回全理事協議会（会長他）
20	広報委員会（荒木常任理事他）
21	宮崎信販との懇談会（会長他） 社会保険医療担当者の個別指導（岩村理事）
22	認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会（TV会議）（石川常任理事） （日向）労災診療費算定実務研修会
23	（埼玉）全国学校保健・学校医大会（高村常任理事）
24	（東京）全国医師会・医師連盟医療政策研究大会（河野委員長他）
25	医協会計監査（河野理事長他） 医師国保組合理事会（秦理事長他）
26	（東京）自民党議員連盟「国民医療を守る議員の会」（金丸常任理事） 宮大経営協議会・学長選考会議（会長） 九医学準備委員会（会長他） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（嶋本理事） 医協理事会（河野理事長他） 第11回全理事協議会（会長他） 医協理事・運営委員合同協議会（河野理事長他）
27	女性医師委員会（荒木常任理事他） 労災診療指導委員会（川野理事）
28	県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会（三者協議会）（濱田副会長他） 県訪問看護ステーション連絡協議会役員会（池井常任理事）
29	（日医）日医医療秘書認定試験委員会（池井常任理事） 日医社保指導者講習会伝達講習会（TV会議）（会長他）
30	生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）（TV会議）（小牧常任理事）

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryu-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和元年11月6日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 7人

1) 男性医師求職登録数 7人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	5	3	2
麻酔科	1	0	1
老健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 73人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和元年度	2	1	3
平成16年度から累計	52	21	73

3. 求人登録 97件 359人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	109	85	24	消化器外科	3	2	1
外科	30	24	6	乳腺外科	3	3	0
整形外科	30	24	6	健診	8	5	3
精神科	14	13	1	泌尿器科	4	2	2
脳神経外科	12	8	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	15	13	2	皮膚科	5	2	3
麻酔科	14	10	4	婦人科	2	2	0
眼科	10	8	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	12	11	1	人工透析	7	5	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼吸器科	3	3	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	5	4	1	診療科目不問	3	3	0
神経内科	8	6	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	10	9	1	内分泌糖尿病内科	2	2	0
リハビリテーション科	4	4	0	その他	7	6	1
救命救急科	9	9	0	合計	359	284	75

求 人 登 録 者 (公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌内,呼内,リウ, 神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮 崎 市	内,小,整(いずれか)	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮 崎 市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮 崎 市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮 崎 市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高 岡 町	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ 東部病院	都 城 市	外,脳外,内,透,眼,皮,放, 腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放,消内	1	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
230162	藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	外	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都 城 市	糖内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都 城 市	内	1	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精,内	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	2	常勤
190086	早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,外,脳外,リハ	6	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内	1	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西 都 市	内	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日 南 市	外,内	4	常勤・非常勤
230198	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和元年11月6日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 2階 547.79㎡ } 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり (20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 小林市細野59-1 土地：1,098.23㎡ (322.79坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 188.00㎡ } 284.00㎡ (86.06坪) 2階 96.00㎡ } ※駐車場あり (29台)	所有者：西諸医師会員 (医) 桑原皮膚科医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡ (603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) 2階 638.35㎡ } ※駐車場あり (30台)	所有者：(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 2階 338.70㎡ } 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり (50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

T E L： F A X：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和元年11月27日

12			月				
1	日	9:00	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 (東京) 全国有床診療所連絡協議会役員会 子育て支援フォーラム	12	木	19:00	県周産期医療協議会
		10:30		13	金	19:00	広報委員会
		14:00		14	土	9:00 18:00	指導医のための教育ワークショップ 県産婦人科医会全理事会
2	月	18:30	宮崎大学医学部地域枠・地域特別枠 全体ミーティング及び講演会・交流会 奥様医業経営塾特別セミナー 県小児科医会九医学小児科学会打合せ会	15	日	8:00	指導医のための教育ワークショップ
		19:00		16	月	19:00	(西都市) 西都市西児湯医師会忘年会
		19:00		17	火	14:00 18:00 18:30 終了後 19:00	労災診療費算定実務研修会 医協理事会 第12回全理事協議会 医協理事・運営委員合同協議会 役職員懇談会
3	火	18:00	治験審査委員会 第14回常任理事協議会 終了後 母体保護法指定医師審査委員会	18	水	19:00	(延岡市) 延岡市医師会会員忘年会
		19:00				13:30 19:00	社会保険医療担当者の新規個別指導 医師会立看護学校担当理事連絡協議会
4	水	14:30	(東京) 全国医師国保組合連合会 国保問題検討委員会 (都城市) 都城市北諸県郡医師会忘年会	19	木	13:00 13:30 13:30 14:30	社会保険医療担当者の個別指導 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会(日医TV会議) (日医) 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会 (日医) 日医小児在宅ケア検討委員会
		19:00				13:00 13:30 19:00	県歯科保健推進協議会 宮崎県地域両立支援推進チーム(協議会) 宮崎産業保健総合支援センター忘年会
5	木	13:00	社会保険医療担当者の個別指導 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会(日医TV会議) (日医) 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会 (日医) 日医小児在宅ケア検討委員会	20	金	13:00 13:30 19:00	県歯科保健推進協議会 宮崎県地域両立支援推進チーム(協議会) 宮崎産業保健総合支援センター忘年会
		13:30				13:00 13:30 19:00	県歯科保健推進協議会 宮崎県地域両立支援推進チーム(協議会) 宮崎産業保健総合支援センター忘年会
6	金	14:00	(東京) 国民医療を守るための総決起大会 (日医) 日医公衆衛生委員会	21	土	15:00 17:00	(福岡) 九州学校検診協議会専門委員会 (福岡) 九州各県医師会学校保健担当理事者会
		15:00				17:00	(福岡) 九州各県医師会学校保健担当理事者会
7	土	13:00	(日医) 家族計画・母体保護法指導者講習会 日本医師事務作業補助研究会宮崎地方会マネジメントセミナー 県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研修会	22	日	17:00	江藤拓農林水産大臣就任祝賀会
		13:00		23	月	15:00	(福岡) 九州地方社会保険医療協議会総会
		13:45		24	火	14:00 19:00	宮大医学部医の倫理委員会 第15回常任理事協議会
8	日	13:00	(日医) 女性医師支援担当者連絡会	25	水	15:00 18:00	労災診療指導委員会 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
9	月	19:00	高次脳機能障がい講演会(TV会議)	26	木		
10	火	19:00	県地域医療・福祉推進協議会代表者会	27	金	13:30	仕事納め式
		14:00	地域医療現場における働きやすい環境を考える会	28	土		
		16:00	支払基金幹事会	29	日		(年末休業)
		19:00	日医認定産業医制度関係小委員会	30	月		(年末休業)
		19:00	広報委員会	31	火		(年末休業)
		19:00	広報委員会				

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和元年11月27日

1			月			
1	水	(年始休業)	18	土	14:30 産業医研修会 (TV会議) 15:00 (佐賀)九州ブロック災害医療研修会 17:30 (佐賀)九医連救急・災害医療担当理事連絡協議会	↑
2	木	(年始休業)				
3	金	(年始休業)				
4	土		19	日	9:00 (佐賀)九州ブロック災害医療研修会	↑
5	日					
6	月	13:00 新年賀詞交歓会 14:30 仕事始め式	20	月	19:00 介護保険に関する主治医研修会 (TV会議)	↑
7	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第16回常任理事協議会	21	火	14:20 (日医)都道府県医師会長協議会 16:30 (日医)日医連執行委員会	
8	水	16:00 支払基金幹事会	22	水	16:00 新人看護職員研修推進協議会 19:00 広報委員会	↓
9	木	19:30 県産婦人科医会常任理事会				
10	金	14:00 (延岡市)保育サポート事業所視察	23	木	17:00 県議会自民党との意見交換会 19:30 県議会自民党との懇談会	↑
11	土	19:00 三師会合同新春懇談会				
12	日	12:00 宮崎大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会主催研修会	24	金	14:00 (日医)日医産業保健委員会 19:00 県外科医会理事会	↓
13	月	9:00 (千葉)JMAT研修ロジスティクス編	25	土	15:00 県産婦人科医会冬期総会	
14	火	13:30 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 19:00 第17回常任理事協議会	26	日	9:00 緩和ケアチーム研修会	↓
15	水	19:00 広報委員会	27	月		
16	木	18:30 病院部会・医療法人部会合同理事会・新年会 19:00 医療従事者向け認知症対応力向上研修会 (TV会議) 新規保険医療機関への説明会	28	火	13:30 宮大経営協議会・学長選考会議 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:15 医協理事会 19:00 第13回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	↓
17	金	15:00 (日医)日医勤務医委員会 17:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 19:00 宮崎市郡医師会新年例会並びにしのめ医学会特別講演会	29	水	14:00 宮大医学部認定再生医療等委員会 15:00 労災診療指導委員会	
			30	木		
			31	金	19:00 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会 (TV会議)	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
実践的認知症セミナー 12月1日(日) 10:00～11:30 ホテル四季亭	希望が生まれる認知症診療 あやか内科クリニック 院長 白土 綾佳	13 (0.5) 29 (1.0)	◇主催 ※児湯医師会 ☎0983-22-1641 ◇共催 児湯内科医会 認知症を学ぶ会 (株)グロービア
第141回宮崎心臓病研究会 12月2日(月) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル	「やぶ医者」の研究 宮崎大学医学部 内科学講座循環体液制御学分野 准教授 鶴田 敏博	9 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 ゲルベ・ジャパン(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
	心不全診療ガイドラインを読み解く 九州大学医学研究院 循環器内科学 教授 筒井 裕之	45 (1.0)	
西臼杵郡医師会学術講演会 12月3日(火) 19:00～20:00 ホテル高千穂	逆流性食道炎 治療最近の話題及びLDAの消化管出血の 対策について 都城医療センター 消化器内科医長 消化器病センター長 駒田 直人	51 (0.5) 52 (0.5)	◇主催 ※西臼杵郡医師会 ☎0982-73-2010 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 大塚製薬(株) 武田薬品工業(株)
宮崎県医師会産業医研修会 12月4日(水) 19:00～21:00 県医師会館	精神疾患と自殺対策 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 12月7日(土) 13:30～15:30 シーガイアコンベン ションセンター	石綿（アスベスト）関連疾患診断技術研修会（専門研 修「石綿関連疾患胸部画像の読影実習」） 和歌山労災病院 呼吸器内科 部長 辰田 仁美 旭労災病院 呼吸器内科部長 アスベスト疾患 ブロックセンター長 加藤 宗博 生涯研修の実地研修会：2単位	9 (0.5) 45 (0.5) 46 (0.5) 79 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県プライマリ・ ケア研究会世話人 会・総会・研修会 12月7日(土) 13:45～16:45 県医師会館	病院で暴言，暴力，クレームに出会ったら 宮崎大学医学部 地域医療・総合診療医学講座 教授 吉村 学 他	4 (1.0) 10 (1.0)	◇主催 宮崎県プライマリ・ケア研究会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第82回宮崎県精神 科医会懇話会 12月7日(土) 17:30～19:00 宮崎観光ホテル	個別化医療の基本と展望 －精神科領域でもそこまで来ている明日の医療技術－ 東北大学医学系研究科 精神神経学分野 教授 富田 博秋	14 (0.5) 68 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 ※宮崎県精神科医会 ☎0982-37-0126 ◇共催 大塚製薬㈱
第13回はまゆう整 形外科セミナー 12月7日(土) 17:45～18:45 宮崎観光ホテル	骨折治癒にかかわる因子の研究 －整形外科基礎研究によって得られたもの－ 宮崎大学医学部 整形外科学教室 講師 船元 太郎 ----- 関節外科の変遷 宮崎県立日南病院 主任部長 松岡 知己	61 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部整 形外科学教室同門会 ☎0985-85-0986
令和元年度高次脳 機能障がい講演会 【TV会議】 12月9日(月) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場：都城，延岡， 日向，児湯，西都， 南那珂，西諸，西臼杵】	高次脳機能障害者にとって主体性が重要 三軒茶屋内科リハビリテーションクリニック 院長 長谷川 幹	29 (1.0) 78 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎市郡内科医会 学術講演会 12月9日(月) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル	感染対策アップデート2019 宮崎大学医学部 内科学講座免疫感染病態学分野 教授 岡山 昭彦	7 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
宮崎県医師会産業 医研修会 12月12日(木) 14:00～16:00 県医師会館	ストレスチェックテスト後の面接 ーエゴグラムとOKグラムを追加してー 産業保健相談員 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (0.5) 1 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
西都市西児湯内科 医会学術講演会 12月12日(木) 19:00～20:00 ホテルブリムローズ 西都	脳神経外科臨床におけるDOAC使用のヒント 中村記念病院 脳神経外科 診療本部長 脳卒中センター センター長 上山 憲司	12 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 西都市西児湯内科医会 ◇共催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 西都地区薬剤師会 ファイザー(株) プリストル・マイヤーズ スクイブ(株)
第7回在宅医療推 進のための連携・ スキルアップ研修会 12月12日(木) 19:00～20:00 県医師会館	生活期リハビリテーション ー訪問リハビリテーションの視点からー いしかわ内科 訪問リハビリテーション室 室長 垣内 透	80 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
第224回宮崎県泌尿 器科医会 12月12日(木) 19:00～20:30 宮崎観光ホテル 参加費：5,000円	日本泌尿器科学会からの報告 ーNCD運営委員会などー 宮崎大学医学部 泌尿器科学講座 教授 賀本 敏行	9 (1.5)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和元年度宮崎市 うつ病等医療連携 システム推進事業 研修会 12月13日(金) 18:45～20:30 宮崎市保健所	若年者の自殺予防 －自殺の危険から見た自殺予防の基礎－ 福岡大学医学部 精神医学講座 講師 衛藤 暢明	70 (1.5)	◇主催 宮崎市 (連絡先) 宮崎市保健所健康支援課 ☎0985-29-5286
延岡医学会学術講 演会－宮崎県北腎 代替療法地域連携 セミナー－ 12月13日(金) 19:00～20:20 延岡市医師会病院	腎代替療法における医療連携(仮) 小倉記念病院 副院長・腎臓内科部長 金井 英俊	73 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 テルモ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎市郡医師会産 業医研修会 12月14日(土) 14:15～17:20 宮崎市郡医師会館	腰痛管理のための3管理 三財病院 副院長 松本 英裕	11 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
	基礎研修の後期研修会:1.5単位 生涯研修の専門研修会:1.5単位	60 (1.0)	
	産業現場でのメンタルヘルス関連業務に対する注意点 いわきりこころのクリニック 院長 岩切 美千代	0 (0.5)	
第29回ひむか骨関 節・脊椎脊髄疾患 セミナー 12月14日(土) 15:25～19:00 宮崎観光ホテル 参加費:1,000円	股関節のキネマティクスから見た変形性関節症の治療 山口大学医学系研究科 整形外科 教授 坂井 孝司	61 (0.5)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎 脊髄疾患セミナー ◇共催 ※中外製薬(株) ☎0985-20-8118
	腫瘍脊椎骨全摘術の適応と実際 名古屋市立大学医学研究科 整形外科分野 教授 村上 英樹	62 (0.5)	
	脊椎の低侵襲手術 －薬剤による骨折予防を含めた高齢者の手術侵襲低減 を目指して－ 東邦大学医学部 整形外科講座 主任教授 高橋 寛	63 (0.5)	
		77 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第187回宮崎県眼科 医会講習会 12月14日(土) 16:00～19:15 ホテルJALシティ 宮崎 参加費:3,000円	緑内障眼における隅角検査 大分大学医学部 眼科学講座 教授 久保田 敏明	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬(株)
	糖尿病黄斑浮腫 九州大学 理事・副学長 石橋 達朗	36 (1.0)	
宮崎市郡外科医会 冬期講演会 12月16日(月) 19:10～20:10 宮崎観光ホテル	当院での膨潤腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術について 南部病院 外科 八尋 陽平	4 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 宮崎市郡外科医会 ◇共催 マイランEPD合同会社 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
県西地区肝炎対策 講演会 12月18日(水) 19:00～20:30 ホテル中山荘	宮崎県のウイルス肝炎の治療の現状 宮崎大学医学部 内科学講座消化器血液学分野 講師 蓮池 悟	8 (0.5)	◇主催 都城市北諸県郡医師会 ◇共催 西諸医師会 ※ギリアド・サイエンス(株) ☎0120-506-985
	ウイルス性肝炎の最新治療と全患者受療に向けた拠点 病院としての取り組み 久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門 准教授 井出 達也	12 (0.5) 73 (0.5)	◇後援 都城市 三股町 小林市 えびの市 高原町
疼痛緩和のための 医療用麻薬適正使用 推進講習会 12月21日(土) 15:00～18:15 宮日会館	緩和薬物療法における薬剤師の役割 宮崎大学医学部附属病院 薬剤部 畑中 真理	10 (0.5)	◇主催 ※麻薬・覚せい剤乱 用防止センター ☎03-5544-8436
	医療用麻薬の適正使用とは?: オピオイドクライシス から何を学ぶのか 獨協医科大学医学部 麻酔科学講座 主任教授 山口 重樹	4 (0.5) 15 (0.5)	◇共催 厚生労働省 宮崎県 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎市郡医師会
	パネルディスカッション: 医療用麻薬の適正使用 潤和会記念病院 ペインクリニック・緩和ケア科部長 田中 信彦 他	0 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第79回宮崎整形外科懇話会 12月21日(土) 18:00～19:00 県医師会館 参加費：1,000円	脆弱性に伴う股関節周囲骨折に対する新しい治療法 久留米大学医学部 整形外科教室 教授 白濱 正博	61 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
心アミロイドーシス治療フォーラム in 宮崎 1月16日(木) 18:50～20:35 ホテルJALシティ 宮崎	アミロイドーシスの診断・治療の最新知見 熊本大学 脳神経内科 特任教授 山下 太郎	63 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 宮崎県病院薬剤師会 ※ファイザー(株) ☎092-281-7031
	ATTR-CM 診断治療についてー最新の話題ー 大阪市立大学医学研究科 循環器内科学 准教授 泉家 康宏	9 (0.5)	
令和元年度医療従事者向け認知症対応力向上研修会【TV会議】 1月16日(木) 19:00～20:30 県医師会館【TV会議場：都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西臼杵 (予定)】	医療従事者向け認知症対応力向上研修 協和病院 認知症疾患医療センター センター長 二宮 嘉正	13 (0.5) 29 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県認知症疾患医療センター
宮崎県医師会産業医研修会 1月18日(土) 15:00～19:00 県医師会館	有害業務管理 熊本大学 生命科学研究部環境生命科学分野 公衆衛生学講座 教授 加藤 貴彦 基礎研修の後期研修会：2単位 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (1.0) 11 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	CBRNE災害における産業医の役割 日本中毒情報センター メディカルディレクター 奥村 徹 基礎研修の後期研修会：2単位 生涯研修の専門研修会：2単位	14 (1.0) 17 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第85回宮崎大学眼科研究会 1月19日(日) 10:00～12:30 宮崎観光ホテル 参加費:2,000円	俺の硝子体手術－最近の網膜硝子体手術の理論と実際－ 愛知医科大学 眼科学講座 主任教授 瓶井 資弘	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部眼科学教室 ☎0985-85-2806 ◇共催 バイエル薬品㈱
	眼科の最近の話題：人工知能など 鹿児島大学医学部 眼科学教室 教授 坂本 泰二	36 (1.0)	
第67回ひむか運動器セミナー・第7回宮崎臨床整形外科セミナー 1月20日(月) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル 参加費:500円	何から始める？ いつまで続ける骨粗鬆症－長期に安全で効果的な治療薬の選択とは－ 東京慈恵会医科大学 整形外科分野 准教授 斎藤 充	59 (0.5) 77 (0.5)	◇主催 ひむか運動器セミナー ◇共催 宮崎臨床整形外科医会 ※旭化成ファーマ㈱ ☎0985-28-2736
令和元年度介護保険に関する主治医研修会 【TV会議】 1月20日(月) 19:00～22:00 県医師会館【TV会議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西臼杵】	認知症患者の主治医意見書の書き方について（仮） 若草病院 院長 白土 俊明 他	12 (0.5) 13 (0.5) 19 (0.5) 29 (0.5) 80 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
宮崎市郡内科医会学術講演会 1月22日(水) 19:10～20:10 ホテルJALシティ 宮崎	抗PAF作用を有するルパタジンの抗ヒスタミン薬に対する位置づけ 東京大学医学系研究科 皮膚科学 教授 佐藤 伸一	20 (0.5) 26 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 田辺三菱製薬㈱ (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
宮崎県医師会産業医研修会 1月23日(木) 19:00～21:00 県医師会館	この1年間の産業保健の動向 －厚生労働省・報道発表資料と通達から－ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会:2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和元年度宮崎県 医師会緩和ケアチ ーム研修会 1月26日(日) 9:00～17:00 県医師会館 参加費:2,000円	【専門医共通講習－①医療倫理(必修)】 困難事例の意思決定支援の実践－秘伝お伝えします－ 聖隷三方原病院 がん看護専門看護師 佐久間 由美 他	2 (2.0) 4 (0.5) 5 (0.5) 10 (0.5) 81 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
2019年度九州・沖 縄地区リウマチの 治療とケア教育研 修会 1月26日(日) 9:00～17:00 ホテルJALシティ 宮崎 参加費 日本リウマチ財団 登録医:7,000円 一般医:10,000円	リウマチ性疾患における看護師の役割 池井病院 看護師 落合 麻衣子 他 関節リウマチの最近の話題 産業医科大学医学部 第1内科学講座 教授 田中 良哉 生物学的製剤治療中の感染症対策 市民の森病院 副院長 膠原病・リウマチセンター 所長 日高 利彦 腎不全合併患者におけるリウマチ治療 熊本再春医療センター リウマチ科 部長 森 俊輔 他 SLEの診断と治療UPDATE 九州大学病院別府病院 病院長 内科 教授 堀内 孝彦 他	10 (1.0) 61 (1.0) 8 (1.0) 9 (1.0) 1 (1.0) 28 (1.0)	◇主催 日本リウマチ財団 ◇共催 ※中外製薬(株) ☎0985-20-8118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第188回宮崎県眼科 医会講習会 2月1日(土) 16:30～19:00 宮崎観光ホテル 参加費:3,000円	糖尿病と白内障手術 東京女子医科大学 東医療センター眼科 教授 須藤 史子	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 千寿製薬(株)
	緑内障診療の最近の話題 東北大学医学系研究科 神経感覚器病態学講座 眼科学分野 教授 中澤 徹	36 (1.0)	
令和元年度宮崎県 医師会健康スポー ツ医学セミナー 2月5日(水) 19:00～20:40 県医師会館	スポーツ大会・イベントにおけるメディカルサポート 体制の立ち上げから実施まで 医療法人社団 紘真会 理事長・院長 押川 紘一郎	10 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	メディカル対応の現状 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座整形外科学分野 教授 帖佐 悦男	10 (0.5)	
	スポーツ中に救急搬送された循環器疾患について 宮崎大学医学部附属病院 循環器内科 助教 井手口 武史	10 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 2月6日(木) 19:00～21:00 延岡市医師会病院	この1年間の産業保健の動向 ー厚生労働省・報道発表資料と通達からー 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武	3 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		7 (0.5)	
第11回宮崎PEEC コースin日南 2月8日(土) 13:00～17:00 串間市民病院	救急現場における精神的問題の初期対応 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 講師 三好 良英	8 (0.5)	◇主催 宮崎大学 ◇共催 宮崎県 日本臨床救急医学会 (連絡先) 宮崎大学医学部臨床 神経科学講座 ☎0985-85-2969
		9 (0.5)	
		13 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月13日(木) 19:00～21:00 県医師会館	ストレスチェックテスト後の面接－交流分析編－ 産業保健相談員 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (0.5) 1 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 2月14日(金) 19:00～21:00 県医師会館	メンタルヘルスにおける産業医面談（Ⅱ） 産業保健相談員 西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 2月20日(木) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	この1年間の産業保健の動向 －厚生労働省・報道発表資料と通達から－ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第12回宮崎PEEC コースin高千穂 2月29日(土) 13:00～17:00 高千穂保健所	救急現場における精神科的問題の初期対応 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 講師 三好 良英	13 (1.0) 68 (1.0) 69 (1.0) 70 (1.0)	◇主催 宮崎大学 ◇共催 宮崎県 日本臨床救急医学会 (連絡先) 宮崎大学医学部臨床 神経科学講座 ☎0985-85-2969

医師資格証を持ちましょう

「医師資格証」はHPKI（保健医療福祉分野公開鍵基盤）の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです

医師資格証は
5年ごとの
更新になりました

申請方法と
受け取り方法が
変更になりました

年間利用料が
廃止されました

2年ごとの
オンライン更新が
不要になりました

診療情報提供書等への HPKI電子署名に対応しています

医師資格証 ご利用シーン



地域医療連携内での
診療情報提供書への
HPKI電子署名
(平成28年診療報酬改定におい
て加算を算定することが可能)

電子処方せん発行時の
HPKI電子署名に使用



日医生涯教育制度、認定
医、かかりつけ医など各
種研修時の受講履歴、
取得単位管理に使用

地域医療連携システムへ
のログイン認証



医師資格証ポータル
サイトの利用



治験データへの
HPKI電子署名



文書交換サービス
の利用



身分証としての活用
JAL DOCTOR登録制度
などへの任意登録に使用
する
※医師資格証を身分証として活用で
きるように各企業、行政機関に働き
かけを行なっています



日本医師会 電子認証センター
Japan Medical Association Certificate Authority

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス17階

詳しくは日本医師会電子認証センターホームページをご覧ください。 <http://www.jmaca.med.or.jp/>



診療メモ



死体検案と死体検案書の作成の注意点

宮崎大学医学部社会医学講座 法医学分野 湯 川 修 弘

死体検案

医師が死体の外表を検査し、必要に応じてCT検査や必要最小限度の侵襲検査として許容されている血液試料採取を行うことを検屍・検死（死後診察）といい、得られた医学的所見に加えて種々の状況や既往歴などを検討した上で、死因、死因の種類、死後経過時間（死亡時期）、法医学的な異状の有無などを判断・推定することを死体検案（死後診断）といいます。

死体検案を行う場面は二通りあり、一つは医療機関（診療所、病院）搬送時に既に死亡している人や医療機関や関連機関で死亡した人の検案です。検案で異状死（体）と認めた場合、24時間以内に所轄警察署に異状死体の届け出をします。届け出を受けて警察が医療機関に来て検視をし、犯罪性がないと判断されれば検案した医師に死亡診断書か死体検案書の作成が求められます。

ただし死因が不明、犯罪性が否定できない、あるいは死因は判明しても事故の状況の解明のために詳しい損傷検査が必要な場合などは法医学解剖になり、死体検案書は解剖医が作成します。また病死であることはほぼ間違いないが何の病気が診断がつかない場合は、病理解剖が適切です。発熱と嘔吐があった患者さんが診断がつかないまま急死され、異状死体届出がなされました。警察から法医学解剖が打診されましたが、概況を聞いて病理解剖を勧めたところ、当大学での病理解剖となりました。詳細な病理組

織検査によってシェーグレン症候群による無菌性髄膜脳炎と判明しましたが、法医学解剖でしたら死因不明のままであったと思います。

なお薬毒物中毒が疑われる場合は法医学解剖です。当教室では薬毒物の検査（鑑定）ができないので宮崎県警察本部刑事部科学捜査研究所に依頼しています。以前近畿地方で青酸による殺人の見逃しが問題になりました。青酸の検出が難しいためですが、本県の科学捜査研究所のレベルは高く、当時既に青酸のスクリーニング方法を独自に開発していました。

もう一つの検案は、警察からの依頼による検案です。死後変化や損傷・損壊の程度あるいは発見された場所や状況などから一般人がみても死亡が明らかな場合や、蘇生の可能性なしと救急隊が判断し医療機関に搬送されなかった場合は、通報を受けた警察が検視をしますが、その際に医師に死亡確認と検案が依頼されます。自宅で死亡しているのを発見され、現場の状況から何らかの病死・自然死であると警察が判断した場合、検案医師の役割は死因の臨床医学的な診断・推定です。この検案は一つめの検案と異なり応召義務はなく地域貢献と言えますが、本県では多くの先生方が臨床の激務の中協力されており頭が下がります。県医師会では年一回臨床医の先生方を対象とした死体検案研修を行っています。

他方、法医学的な検案もあります。自殺で多いのは縊頸ですが、死体に不審なところが

ないか、つまり自為として矛盾するところがないかを医師が判断しなければなりません。このような検案は、本県では主に警察医の先生方が行われています。先生方には厚生労働省の死体検案研修を修了された方も多く、警察医会が宮崎県医師会の中に組織されています。宮崎県における年間の検案数（統計としては市町村役場に提出される死体検案書の総数になると思います）は分かりませんでしたが、ここ数年の警察の死体取り扱い件数は年間1,330～1,430体で、一日当たり3～4体です。

死亡診断書と死体検案書

諸外国では死亡診断書と死体検案書の区別がなくDeath Certificationしかないのですが、区別のある日本ではどちらの書類を作成するのかという法律的判断が医師に課せられています。しかし幸いなことにその選択は厚生労働省のマニュアルの記載のとおり常識的です（マニュアルは毎年改定されておりダウンロードできます）。すなわち、

医師は、「自らの診療管理下にある患者が、生前に診療していた傷病に関連して死亡した」と認める場合には死亡診断書を交付し、それ以外の場合には（死体を検案して）死体検案書を交付する

が選択の基準で、（ ）内は私が補ったものです。どのような場合に検案し死体検案書を作成するのかは複雑なので、死亡診断書を作成すべき場合（要件）を明確に定めて、該当しない場合はすべて死体検案書という説明の仕方になっています。

書類作成の注意点

死亡診断書・死体検案書作成の際に注意すべきことがあります。一つは「とき」について、病死および自然死（自然死は老衰と同意と考えて良いと思います）では死亡したときだけを記載すれば良いのですが、外因死では外因死の追加事項の欄に傷害が発生したときの記載が

必要です。当然ですが、傷害が発生したときに死亡したときよりも後になることはなく、即死や短時間での死亡では、死亡の原因の欄の発病（発症）または受傷から死亡までの期間を「即死」や「短時間」とし、傷害が発生したときは死亡したときと同じにするか、少しだけ遡ったときとします。傷害発生後に時間が経過して死亡した場合は、発病・受傷から死亡までの期間を例えば「約4時間」や「約1日」とし、傷害が発生したときは死亡したときよりもそれだけの時間遡ったときとします。

もう一つは死因の種類についてです。死因の種類は諸外国ではnatural death（病死および自然死、すなわち内因死）とunnatural death（外因死または外因死か内因死か判断できない死）しかないです。しかし日本では外因死が更に細かく分けられており注意深い判断が求められます。例えば自殺の可能性が高い転落でも、事故の可能性が否定できない場合、その他および不詳の外因死の「9自殺」ではなく外因死であることは明確であるが事故か他殺や自殺の判別ができないことを意味する「11その他および不詳の外因」を選択するのが慎重な判断と思います。また病死と外因死のどちらかに決めきれない場合は「12不詳の死」です。

最後に死因の種類における決まり事を記します。死亡の原因の欄の記載の仕方と同様に、死因の種類は一連の事象を因果関係を遡って決めることになっています。例えば橋で車が衝突されて川に落ち、同乗者が溺死した場合の死因の種類は直接の死因の「4溺水」ではなく、車の川への転落の原因となった「2交通事故」です。ただし人が歩いていて用水路に落ちて溺死した場合は「4溺水」と決められています。また地震の津波による溺死ならば、死因の種類は「8その他」ですが、地震や台風などの自然災害が8その他であることを知らなければわかりません。死体検案書を作成される場合、ある程度慣れるまでは厚生労働省のマニュアルを手元に置いておいて確認することを勧めます。

平成31年・令和元年 総目次 (No.833~No.844)

【表紙】

虎踞龍蟠	延岡市	岡村公子	1月号
出発	宮崎市	西村篤乃	2月号
青島・こどもの国	宮崎市	井ノ口信子	3月号
かわいいミーちゃん	都城市	酒井和彦	4月号
ながらへば	宮崎市	松本京子	5月号
森のオアシス	宮崎市	西村篤乃	6月号
シュタイン城	都城市	谷口浩子	7月号
越早滝	宮崎市	林紘臣	8月号
乱れ花	延岡市	長沼弘三郎	9月号
夕されば	宮崎市	弓削和子	10月号
日が暮れる	宮崎市	楠元正輝	11月号
雨上がりの光景	宮崎市	丸田英夫	12月号

【会長のページ】

年頭所感	会長	河野雅行	1月号
臨床研修指導医のためのワークショップ			2月号
人手不足と外国人労働者と働き方			3月号
2020年九医連宮崎への対応			4月号
改元に想う			5月号
働き方改革			6月号
続・医師確保について			7月号
真夏のオリンピック			8月号
行政と共に健康・地域医療を守る			9月号
消費税10%			10月号
医師会力強化			11月号
少子化対策			12月号

【日州医談】

勤務環境改善支援センターと医師の働き方改革	常任理事	池井義彦	2月号
日々の暮らしの中の地域医療 そして地域共生	常任理事	金丸吉昌	3月号
求められる産業医・産業保健体制の見直し	常任理事	佐々木幸二	4月号

宮崎県における小児在宅医療の問題点と展望	常任理事	高 村 一 志	5月号
地域医療構想における在宅医療	常任理事	石 川 智 信	6月号
介護医療院について	理 事	立 元 祐 保	7月号
予防接種の現状と展望	理 事	峰 松 俊 夫	8月号
スプリンクラー等設置と火災防災について	理 事	川 野 啓一郎	9月号
医師国保の保険料と自家診療	理 事	佐々木 究	10月号
一億総活躍社会において医師・医療従事者の働き方改革はどうなっていくのか？			11月号
	理 事	岩 村 威 志	
救急・災害医療に関わって	理 事	米 澤 勤	12月号

【挨拶】

年頭所感	日本医師会長	横 倉 義 武	1月号
年頭所感	顧 問	秦 喜八郎	1月号
年頭所感	顧 問	稲 倉 正 孝	1月号
年頭所感	宮崎市郡医師会長	川 名 隆 司	1月号
年頭所感	都城市北諸県郡医師会長	田 口 利 文	1月号
年頭所感	延岡市医師会長	吉 田 建 世	1月号
年頭所感	日向市東臼杵郡医師会長	千代反田 晋	1月号
年頭所感	児湯医師会長	永 友 和 之	1月号
年頭所感	西都市西児湯医師会長	松 本 英 裕	1月号
年頭所感	南那珂医師会長	中 村 彰 伸	1月号
年頭所感	西諸医師会長	内 村 大 介	1月号
年頭所感	西臼杵郡医師会副会長	植 松 昌 俊	1月号
年頭所感	宮崎大学医学部医師会長	鮫 島 浩	1月号
年頭所感	内科医会長	比 嘉 利 信	1月号
年頭所感	小児科医会長	高 山 修 二	1月号
年頭所感	外科医会長	白 尾 一 定	1月号
年頭所感	整形外科医会長	松 本 宏 一	1月号
年頭所感	皮膚科医会長	成 田 博 実	1月号
年頭所感	産婦人科医会長	肥 後 貴 史	1月号
年頭所感	泌尿器科医会長	蓑 田 國 廣	1月号
年頭所感	眼科医会長	柴 田 博	1月号
年頭所感	耳鼻咽喉科医会長	井 手 稔	1月号
年頭所感	精神科医会長	吉 田 建 世	1月号

年頭所感	放射線科医会長	平 井 俊 範	1月号
年頭所感	東洋医会長	川 越 宏 文	1月号
年頭所感	透析医会長	藤 元 昭 一	1月号
年頭のご挨拶	宮崎県知事	河 野 俊 嗣	1月号
年頭のご挨拶	宮崎大学長	池ノ上 克	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員(1区)	武 井 俊 輔	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員(2区)	江 藤 拓	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員(3区)	古 川 禎 久	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	松 下 新 平	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	長 峯 誠	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	羽生田 俊	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	自 見 はなこ	1月号

【随想・随筆】

ベンガルの思い出	延岡市	大 崎 泰	3月号
小林邦雄コレクションについて	宮崎市	大 西 雄 二	3月号
セザンヌとピサロを巡って－印象派の画家たち－	宮崎市	友 成 久 雄	10月号
涙が出そうになりました	宮崎市	尾 上 耕 治	10月号
転居事情	宮崎市	森 憲 正	10月号
医家芸術展	宮崎市	谷 口 二 郎	11月号
母と妻の遺し物－転居異聞(その1)	宮崎市	森 憲 正	12月号

【新春随想・俳壇・歌壇・川柳・絵画】

火事に充分注意を	宮崎市	谷 口 二 郎	1月号
昔むかし、アンネのね	日南市	北 村 應 旺	1月号
私の野球人生－その喜びと挫折－	宮崎市	七 島 篤 志	1月号
老医の独り言	宮崎市	杉 田 幸 雄	1月号
ラグビー婆ちゃん	高鍋町	坂 田 師 隣	1月号
心とは何だろう	延岡市	宝珠山 弘	1月号
新春詠	宮崎市	石 川 誠 一	1月号
好奇心と楽観バイアス	宮崎市	加 藤 丈 司	1月号
撮り鉄	高鍋町	大 森 史 彦	1月号
ゴルフに片思い	宮崎市	澤 田 浩 武	1月号
最近の仕事－書くこと	宮崎市	大 西 雄 二	1月号
5回目の亥年	宮崎市	河 原 勝 博	2月号

ささやかな初夢	宮 崎 市	山 村 善 教	2月号
ご挨拶	宮 崎 市	中 川 秀 人	2月号
2度目の癌から12年	西 都 市	串 間 美 昭	2月号
産休	日 向 市	堀之内 和 代	2月号
外科医？精神科医？	宮 崎 市	國 枝 良 行	2月号
還暦を迎えて	綾 町	玉 置 昇	2月号
「乙亥」の想い	宮 崎 市	南 嶋 洋 一	2月号
重心病棟スケッチ	日 南 市	山 口 和 正	2月号
医療と人工知能（AI）	小 林 市	竹之内 剛	2月号
秋月三名君を想う	高 鍋 町	坂 田 師 通	2月号
還暦	宮 崎 市	関 良 二	2月号
年男雑感	宮 崎 市	小 池 弘 幸	2月号
聖職の碑 ^{いしふみ}	延 岡 市	長 沼 弘三郎	2月号
そこに山がアールから（初心者編）	宮 崎 市	細 川 和 義	2月号
晩秋に植えた花々	西 都 市	友 成 久 雄	2月号
クラフトビールとみやざき	宮 崎 市	吉 村 学	2月号
日本の医療・介護制度と台湾	延 岡 市	佐 藤 信 博	2月号
昨年の振り返りと今年の抱負	宮 崎 市	池 田 龍 二	2月号
一心精進の果てに	西 都 市	大 塚 康二朗	2月号
皮膚科のサブスペシャリティ“皮膚悪性腫瘍指導専門医”	宮 崎 市	天 野 正 宏	2月号

【はまゆう随筆・短歌・俳句】

院長が何を考えているかわかりませんⅢ	宮 崎 市	田 畑 直 人	7月号
10連休の過ごし方	宮 崎 市	谷 口 二 郎	7月号
令和元年GW・ショートトリップーRosso編	日 南 市	北 村 恵 子	7月号
令和元年GW・ショートトリップーBlu編	日 南 市	北 村 和 生	7月号
遠くトライアルを思いやる	えびの市	森 藤 秀 美	7月号
平成を振り返って	延 岡 市	丸 山 洋一郎	7月号
「闘病記」を書く	宮 崎 市	大 西 雄 二	7月号
近詠	宮 崎 市	石 川 誠 一	7月号
精神科診療所が全国学会を開催するとどうなるのか～地域回想法サミットin宮崎を開催して～	宮 崎 市	細 見 潤	7月号
検死（検視）	高 鍋 町	坂 田 師 隣	7月号
うーん困った、医師法第21条	宮 崎 市	高 宮 眞 樹	8月号

旅は道づれ世は情け	延岡市	宝珠山 弘	8月号
うきうきウクレレ	高鍋町	高山 修二	8月号
カナリア諸島	宮崎市	松本 宏一	8月号
神秘的な島・屋久島	小林市	園田 泰三	8月号
趣味の音楽鑑賞	小林市	池井 義彦	8月号
70歳までに100登山	三股町	小牧 文雄	8月号
ラスベガス	宮崎市	丸山 亮	8月号
災害時メーリングリスト	都城市	伊達 晴彦	8月号
某月某日の在宅当番医制	宮崎市	原田 一道	8月号
看護大学で医師だからできること『元気な街づくり・人づくり』			
	宮崎市	江藤 敏治	8月号
無題	日南市	山口 和正	8月号
閑話	延岡市	長沼 弘三郎	9月号
玩具の海	宮崎市	福富 アツ	9月号
ダナエ	宮崎市	西村 篤乃	9月号
搭乗待合室の風景	高鍋町	坂田 師通	9月号
我が家の味噌造り	高鍋町	大森 史彦	9月号
「かかりつけ医」に情報の集約化を!!	日南市	河野 清秀	9月号
Fib-4 index	宮崎市	宇都 浩文	9月号
万葉集と額田王と“アカハライモリ”と	宮崎市	小池 弘幸	9月号
笑うことが好きですー3	串間市	野田 隆	9月号
伝へ聞かん人またまた速やかに去るべし	日南市	新木 正剛	9月号
春のミニ花壇	宮崎市	友成 久雄	9月号

【寄稿】

夢の途中	厚生労働省労働基準局安全衛生部長	椎葉 茂樹	1月号
川名修徳先生が弓道の範士に	日向市	堀之内 和代	12月号

【エコー・リレー】

初期研修医 戸数です！	宮崎市	戸数 和浩	1月号
日日は好日	西都市	首藤 謙二	1月号
ある夫婦	宮崎市	西村 賢人	2月号
柴犬の魅力	宮崎市	甲斐 恭子	2月号
唯一無二の	延岡市	永友 克己	3月号
まさかのマイノリティー	宮崎市	西田 深雪	3月号

脂肪細胞とBMIと私	宮 崎 市	鍋 倉 弘 樹	4月号
小学校のPTA活動について	宮 崎 市	菊 池 有 紀	4月号
多汗症のお話	延 岡 市	北 國 秀 治	5月号
レキジョのハシリ？	日 向 市	丸 田 望	5月号
atraumaticな手術を意識して	宮 崎 市	渡 邊 龍 志	6月号
趣味から得る教訓	宮 崎 市	永 井 崇 敬	6月号
日々向上	延 岡 市	押 川 初 音	7月号
「食」の思い出	日 向 市	分 田 裕 順	7月号
私のルーツ	宮 崎 市	小笠原 奈 月	8月号
タイムマシンに乗って	宮 崎 市	関 本 朝 久	8月号
山歩きの効用	延 岡 市	大 塚 晃 生	9月号
心の雑草を取る	宮 崎 市	福 田 健 二	9月号
オリンピック（五輪）の思い出	都 城 市	野 田 俊 一	10月号
ある災難	宮 崎 市	神 蘭 豊	10月号
次は社会貢献?!	都 城 市	吉 山 登志子	11月号
アナログ世代ですが	宮 崎 市	川 越 正 一	11月号
少子高齢化に思う	宮 崎 市	戸 枝 通 保	12月号
熱気球の思い出	宮 崎 市	河 野 雅 充	12月号

【叙位・叙勲】

平成30年1月～12月までの叙勲及び褒章・表彰・祝賀受賞会員			1月号
瑞宝双光章	西都市西児湯医師会	上 山 征史郎	7月号
旭日双光章	宮崎市郡医師会	八 尋 克 三	12月号

【褒章・祝賀】

藍綬褒章	宮崎市郡医師会	倉 山 茂 樹	12月号
------	---------	---------	------

【表彰・祝賀】

学校保健功勞により日本医師会長表彰	延岡市医師会	黒 瀬 明 治	2月号
厚生労働省労働基準局長表彰	宮崎市郡医師会	阿久根 広 宣	2月号
公衆衛生事業功勞により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	山 内 良 澄	2月号
公衆衛生事業功勞により県知事表彰	延岡市医師会	木 下 義 美	2月号
公衆衛生事業功勞により県知事表彰	西都市西児湯医師会	児 玉 芳 久	2月号
公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	石 川 誠 一	3月号
公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰	延岡市医師会	日 高 隆 徳	3月号
公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会会長表彰	延岡市医師会	小 川 修	3月号

公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会長表彰	南那珂医師会	中 島 昌 文	3月号
医療功勞により県知事表彰	宮崎市郡医師会	済 陽 英 道	7月号
医療功勞により県知事表彰	宮崎市郡医師会	長 嶺 元 久	7月号
医療功勞により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	佐々木 幸 二	7月号
医療功勞により県知事表彰	延岡市医師会	川 名 修 徳	7月号
医療功勞により県知事表彰	日向市東臼杵郡医師会	尾 崎 峯 生	7月号
医療功勞により県知事表彰	児湯医師会	坂 田 師 隣	7月号
医療功勞により県知事表彰	西都市西児湯医師会	水 田 能 久	7月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	宮崎市郡医師会	大 浦 福 市	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	宮崎市郡医師会	塩 屋 美代子	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	宮崎市郡医師会	獅子目 賢一郎	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	宮崎市郡医師会	立 元 祐 保	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	宮崎市郡医師会	津 曲 康一郎	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	都城市北諸県郡医師会	花 房 明 憲	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	都城市北諸県郡医師会	森 山 篤 志	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	都城市北諸県郡医師会	山 内 良 澄	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	延岡市医師会	岡 村 公 子	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	延岡市医師会	早 田 泰 英	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	延岡市医師会	丸 山 洋一郎	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	日向市東臼杵郡医師会	大久保 史 明	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	日向市東臼杵郡医師会	和 田 徹 也	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	西都市西児湯医師会	大 塚 和 子	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	西諸医師会	桑 原 大 祐	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	西諸医師会	益 山 芳 正	9月号
救急医療功勞により県知事表彰	西諸医師会	小林市立病院	9月号
救急医療功勞により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	重 平 正 文	9月号
救急医療功勞により県知事表彰	延岡市医師会	米 田 敬 三	9月号

救急医療功勞により県知事表彰	西都市西児湯医師会	佐藤幸憲	9月号
産科医療功勞により厚生労働大臣表彰	日向市東臼杵郡医師会	渡邊命平	10月号
救急医療功勞により厚生労働大臣表彰	日向市東臼杵郡医師会	和田徹也	10月号
精神保健福祉事業功勞者厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	細見潤	11月号
国民健康保険事業及び介護保険事業功勞により国民健康保険中央会表彰	宮崎市郡医師会	阿久根広宣	12月号
国民健康保険事業及び介護保険事業功勞により国民健康保険中央会表彰	宮崎市郡医師会	石川智信	12月号
国民健康保険事業及び介護保険事業功勞により国民健康保険中央会表彰	宮崎市郡医師会	井上雅文	12月号
国民健康保険事業及び介護保険事業功勞により国民健康保険中央会表彰	宮崎市郡医師会	津守伸一郎	12月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	延岡市医師会	税所幸一郎	12月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	延岡市医師会	富田精一郎	12月号
精神保健福祉事業功勞により県知事表彰	延岡市医師会	松藤正彦	12月号
日本医師会最高優功賞	宮崎市郡医師会	河野雅行	12月号
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰	宮崎市郡医師会	原田一道	12月号
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	吉山政敏	12月号

【あなたできますか？】

各号

【宮崎県感染症発生動向】

各号

【メディアの目】

3度目の亥年の選挙イヤー	MRT宮崎放送	報道部長	伊賀透浩	2月号
医療のありがたみ	南日本新聞社	宮崎支局長	川野裕和	3月号
忘れられない少年のこと	NHK宮崎放送局	放送部長	森将仁	4月号
ハコモノより「自然のアリーナ」の整備を	朝日新聞社	宮崎総局長	宮崎太介	5月号
お医者任せにしない	共同通信	宮崎支局長	上野敏彦	6月号
「地産地消」で県外から人を呼び込め	日本経済新聞社	宮崎支局長	鈴木豊之	7月号
平成の桃源郷で知る故郷の心	時事通信社	宮崎支局長	高城靖	8月号
金融のチカラ	読売新聞	宮崎支局長	若松健一	9月号

“台風銀座”宮崎	UMKテレビ宮崎 報道部長	岩 下 秀 博	10月号
世界糖尿病デーを取材して	西日本新聞 宮崎支局長	佐 伯 浩 之	11月号
医療現場にユーモアを	毎日新聞 宮崎支局長	宝 満 志 郎	12月号

【郡市医師会だより】

南那珂医師会（メイン）	会 長	中 村 彰 伸	2月号
西諸医師会（メイン）	理 事	吉 村 雄 樹	3月号
西臼杵郡医師会（メイン）	会 長	佐 藤 元二郎	4月号
宮崎大学医学部医師会（メイン）	会 長	鮫 島 浩	5月号
宮崎市郡医師会（メイン）	理 事	神 尊 敏 彦	6月号
都城市北諸県郡医師会（メイン）	理 事	瀬ノ口 洋 史	7月号
延岡市医師会（メイン）	理 事	金 井 一 男	8月号
日向市東臼杵郡医師会（メイン）	会 長	千代反田 晋	9月号
児湯医師会（メイン）	会 長	永 友 研 一	10月号
西都市西児湯医師会（メイン）	会 長	松 本 英 裕	11月号
南那珂医師会（メイン）	会 長	中 村 彰 伸	12月号

【国公立病院だより】

独立行政法人国立病院機構 宮崎病院	院 長	江 崎 公 明	3月号
宮崎市立田野病院	院 長	近 藤 千 博	5月号
高千穂町国民健康保険病院	院 長	久 米 修 一	7月号
国立病院機構 宮崎東病院	院 長	塩 屋 敬 一	9月号
五ヶ瀬町国民健康保険病院	院 長	崔 林 承	11月号

【宮崎大学医学部だより】

感染症学講座 免疫学分野	教 授	佐 藤 克 明	2月号
附属病院 リハビリテーション部	部 長	帖 佐 悦 男	3月号
	副 部 長	鳥取部 光 司	
解剖学講座 超微形態科学分野	教 授	澤 口 朗	4月号
発達泌尿器生殖医学講座 泌尿器科学分野	講 師	寺 田 直 樹	5月号
病態解析医学講座 放射線医学分野	教 授	平 井 俊 範	6月号
機能制御学講座 応用生理学分野	教 授	丸 山 眞 杉	7月号
機能制御学講座 統合生理学分野	教 授	高 宮 考 悟	8月号
病態解析医学講座 麻酔生体管理学分野	教 授	恒 吉 勇 男	9月号
機能制御学講座 腫瘍生化学分野	教 授	森 下 和 広	11月号
内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野	医 局 長	柳 重 久	12月号

【専門分科医会だより】

精神科医会	会 長	吉 田 建 世	4月号
眼科医会	会 長	柴 田 博	5月号
透析医会	会 長	藤 元 昭 一	7月号
小児科医会	会 長	高 山 修 二	8月号
泌尿器科医会	会 長	蓑 田 国 広	9月号
産婦人科医会	会 長	肥 後 貴 史	10月号
耳鼻咽喉科医会	会 長	井 手 稔	11月号

【部会だより】

産業医部会	常任理事	佐々木 幸 二	3月号
労災部会	部 会 長	田 中 俊 正	6月号
園医部会	部 会 長	橋 口 兼 英	12月号

【報告（宮崎県医師会各種委員会）】

介護保険委員会	1月号
医学賞選考委員会	1月号
宮崎県医師会医学会役員会	7月号
第120回九州医師会医学会 第1回準備委員会	9月号
健康スポーツ医学委員会	11月号
健康教育委員会	11月号
介護保険委員会	12月号

【報告（諸会議）】

九州医師会連合会第1回各種協議会	1月号
九州医師会連合会第374回常任委員会	1月号
平成30年度全国医師会勤務医部会連絡協議会	1月号
平成30年度日本医師会女性医師支援センター事業九州ブロック別会議	1月号
第40回産業保健活動推進全国会議	1月号
都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会	1月号
医師会立看護学校担当理事連絡協議会	2月号
九州医師会連合会第116回臨時委員総会	3月号
第118回九州医師会連合会総会・医学会	3月号
第6回日本糖尿病対策推進会議総会	3月号
平成30年度女性医師支援担当者連絡会	3月号
宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 合同会議	3月号

九州医師会連合会第375回常任委員会	3月号
九州各県医師会医療事故調査制度担当理事連絡協議会	5月号
九州医師会連合会平成30年度第2回各種協議会	5月号
宮崎県医師会創立130周年記念医学会・県民健康セミナー	5月号
宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会	
～All Miyazaki 研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ～	6月号
九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会第3回九州ブロック災害医療研修会	7月号
九州各県医師会診療報酬担当理事連絡協議会	7月号
九州医師会連合会第376回常任委員会	7月号
令和元年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	7月号
第170回宮崎県医師会定例代議員会(概要)	8月号
令和元年度第76回宮崎県医師会総会	8月号
第1回各郡市医師会長協議会	8月号
都道府県医師会医師偏在対策・働き方改革担当理事連絡協議会	9月号
九州医師会連合会第377回常任委員会	9月号
九州医連連絡会第28回常任執行委員会	9月号
九州医師会連合会第378回常任委員会	9月号
九州医師会連合会第379回常任委員会	10月号
第117回九州医師会連合会定例委員総会	10月号
宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 合同会議	11月号
九州各県医師会学校保健担当理事者会(日本医師会学校保健担当理事との懇談会)	11月号
令和元年度九州医師会連合会学校医会評議員会	11月号
第63回九州ブロック学校保健・学校医大会 令和元年度九州学校検診協議会(年次大会)	11月号
九州医師会連合会第380回常任委員会	11月号
日本医師会 医業の第三者承継フォーラム	12月号
令和元年度日本医師会 女性医師支援センター事業九州ブロック別会議	12月号
第2回外国人医療対策会議(都道府県医師会 外国人医療対策担当理事連絡協議会)	12月号
第41回産業保健活動推進全国会議	12月号

【報告(その他)】

第19回宮崎県医師会医家芸術展	5月号
第20回宮崎県医師会医家芸術展	11月号
医家芸術展 出展者との意見交換会	11月号
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	12月号

【宮崎県医師協同組合だより】

医療機関における消防法についてのご案内	1月号
医師協同組合取扱い保険について	3月号
医師協同組合提携のメディカルカードについて	5, 9月号
《休診共済のご案内》 ～医師の休業を補償します～	7月号
グループ保険(団体定期保険)のすすめ	11月号

【宮崎県医師国保組合だより】

保険事業のご案内	1～3, 6～8, 10～12月号
第23回歩こう会について(予告)	2月号
平成31年度の保険料賦課について	4月号
国民健康保険法第116条にかかる届出のお願い	4月号
第23回歩こう会に参加して	宮崎市長 川野啓一郎 5月号
平成30年度宮崎県医師国民健康保険組合第120回通常組合会	5月号
令和元年度宮崎県医師国民健康保険組合第121回通常組合会	9月号

【追悼のことば】

木佐貫 健 一 先生	宮崎市郡医師会	6月号
黒 瀬 明 治 先生	延岡市医師会	6月号
関 師 鎮 雄 先生	西都市西児湯医師会	7月号
永 野 由 起 先生	都城市北諸県郡医師会	7月号
森 善 治 先生	都城市北諸県郡医師会	10月号
高 橋 政 見 先生	児湯医師会	10月号

【診療メモ】

緩和ケア	宮崎市郡医師会病院	内 藤 明 美	1月号
古くて新しい『脂質異常症』の話～心血管カテーテル治療医から見た脂質異常症診療～	宮崎市郡医師会病院	松 浦 広 英	2月号
出生前診断について知っておきたいこと	宮崎大学医学部附属病院 産婦人科	山 口 昌 俊	3月号
僧帽弁逆流症に対する新たなカテーテル治療 ～MitraClipによる経皮的僧帽弁接合不全修復術～	宮崎市郡医師会病院心臓病センター	木 村 俊 之	4月号
がん免疫療法の現状と展望	宮崎大学医学部附属病院臨床腫瘍科	柴 田 伸 弘	5月号
トラベルクリニックの世界	いわさき小児科	岩 崎 直 哉	6月号
女性アスリートに対する産婦人科的支援について	宮崎市郡医師会病院	明 野 慶 子	7月号

薬疹について	にしだ皮膚科	西 田 隆 昭	8月号
慢性便秘症の診療			
宮崎大学医学部 内科学講座消化器血液学分野		山 本 章二郎	9月号
睡眠・不眠について、患者さんの質問＜あるある＞			
宮崎大学 安全衛生保健センター		武 田 龍一郎	10月号
児童相談所における児童虐待対応	宮崎県中央児童相談所	中 澤 紀代美	11月号
死体検案と死体検案書の作成の注意点			
宮崎大学医学部社会医学講座法医学分野		湯 川 修 弘	12月号

【私の本】

イラストで学ぶ病気の基礎～医療従事者や患者さんが病気を理解するために～

	宮 崎 市	大 塚 伸 昭	7月号
蘇れ 失語症への取り組み	宮 崎 市	大 西 雄 二	12月号

【宮崎グルメ探訪】

料亭 四季乃	宮 崎 市	稲 倉 琢 也	4月号
--------	-------	---------	-----

【宮大医学部学生のページ】

宮崎大学学園祭 第14回清花祭～清花絢爛～ 開催報告		阿 部 眞 也	1月号
		西 岡 拓 哉	
部活動紹介～卓球部～	医学科4年	坂 口 岳 彦	2月号
第9回 宮崎の医療を考える会（若手記者との勉強会）「医師の働き方改革について」			3月号
	医学科5年	二 見 旬 祐	
国試対策委員会の活動と第113回医師国家試験について			
	医学科5年	唐 澤 賢 祥	4月号
		泉 摩 依	
		山 本 麻 由	
		馬 淵 大 輝	
国試対策委員会の活動と宮崎大学医学部の試験における変革について			
	医学科5年	土 持 友 香	5月号
令和元年度、新入生歓迎委員よりご報告	医学科4年	佐 圓 海 渡	6月号
音楽祭実行委員長よりご報告	医学科4年	北 條 琳 子	7月号
Prince of Songkla University (PSU) 留学体験記	医学科6年	山 本 麻 由	8月号
上海交通大学留学について	医学科3年	清 水 美 咲	9月号
学生会の活動と今後の展望	医学科3年	河 野 大 地	10月号

宮崎大学学園祭 第15回清花祭	医学科4年	大 西 啓	11月号
部活動紹介～篠懸太鼓～	医学科5年	澤 村 成 美	12月号

【その他】

宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員名簿(医科)	2月号
宮崎県社会保険診療報酬支払基金審査委員名簿(医科)	7月号
平成31年・令和元年総目次	12月号

【案内】

令和元年度第76回宮崎県医師会総会	5月号
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	8, 9月号

【お知らせ】

宮崎県医療勤務環境改善支援センター	各 号
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	各 号
平成30年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	1月号
郡市医師会への送付文書	各 号
女性医師の皆様へ(マタニティ白衣貸出)	2, 3, 7, 11月号
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	2月号
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	2, 7, 9～11月号
第19回宮崎県医師会医家芸術展	1～3月号
第2回おぎゃー献金チャリティーコンサートのご案内	3月号
勤務医・研修医の先生へお知らせ～春の異動シーズンに備えて～(医師会・医師協同組合)	3月号
宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防の取組みに係る医療機関対象調査について	3月号
宮崎県医師会諸会費について	4月号
医師資格証を持ちましょう	4, 7, 11, 12月号
クールビズについて	5～10月号
宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置	5月号
「はまゆう随筆」原稿募集	5, 6月号
第20回宮崎県医師会医家芸術展	6～8月号
第3回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	7～9月号
令和元年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	7～9月号
「新春随想」原稿募集	10, 11月号
年末・年始の休館について	12月号
「日医君」イラストデータ利用許諾申請について	12月号

宮大医学部学生のページ



部活動紹介～篠懸太鼓～

宮崎大学医学部 医学科 5年 さわ むら なる み 澤 村 成 美

すずかけ
篠懸太鼓は1996年の宮崎大学医学部の大学祭を機に結成され、2008年に正式な部活動として認められました。医学部を中心に活動しておりますが、教育学部・工学部・農学部といった他学部からも太鼓好きが集まり、現在は約45名で活動しております。

主な活動内容は、6月の宮崎大学医学部音楽祭と、11月の宮崎大学清花祭に向けての練習です。他にも地域のお祭りや学会等での演奏のお声掛けをいただき、今年度はきよたけ郷土祭りや日之影溪谷まつりといった地域のお祭りをはじめ、消化器病学会九州支部例会、日本臨床薬理学会九州・沖縄地方会、古賀総合病院での地域医療支援協力病院懇談会、大貫診療所開院10周年記念祝賀会、宮崎大学ホームカミングデイでも演奏させていただきました。昨年夏に出場しましたえれこっちゃ宮崎では賞をいただき、運動部のように西医体等の大会がない私た

ちにとって初めての受賞となりました。

篠懸太鼓は地域の方々とのつながりが深く、結成当時から清武の太鼓団体様から太鼓をお借りし、きよたけ郷土祭りには他の太鼓団体様と一緒に出演させていただいております。そのため、「地域の方々に感謝を忘れずに活動する」という思いが部に根付いており、地域のお祭りでの演奏のお話をいただいた際には、できる限りご依頼にお応えできるように努めております。太鼓を通じてうまれた“縁”こそが、私たち篠懸太鼓にとって何よりの財産です。県内各地で演奏をさせていただく中で、その文化に触れながら地域の人々との一期一会をこれからも大切にして、感謝の気持ちを忘れず精進していきたいと思います。

篠懸太鼓の活動の特徴的な点として、活動期間の短さと、指導体制が挙げられます。年間の活動期間は主に5・6月と10・11月の短期集



まつりえれこっちゃみやざき2018



第15回清花祭

中型となっており、シーズンオフが長いので、部員のほとんどが兼部やアルバイトをしております。一方でシーズン中は、ほぼ毎日のように顔を合わせ、お互いの音や動きの改善点を指摘し合いながら練習しております。密度の濃い期間を一緒に過ごすため、シーズンが短くとも部員同士の絆は深いものであると感じます。また、篠懸太鼓には監督や指導者といった立場の者がいないため、結成当時のOB・OGの方々が考えられた太鼓の打ち方を、先輩から後輩へ受け継ぐという指導体制をとっております。そのため、時の流れとともに少しずつ叩き方や曲のアレンジに変化はありますが、演奏で使用する法被や太鼓、曲目、基本的な太鼓の打ち方は結成当時より変わっておりません。日本の伝統文化である和太鼓とともに、篠懸太鼓自身の伝統も大切に受け継いでいく姿勢は、篠懸太鼓の素晴らしい点の一つではないかと思えます。

太鼓の魅力は、体全体で演奏を楽しんでいた点ではないかと存じます。目で迫力ある動きを、耳で鼓音の重なりを、そしてお腹の底で太鼓の振動を感じていただけます。演奏後には「元気が出た」とお声掛けいただくことが多く、私たち自身も「観てくださっている方々が

明日からも頑張ろうという気持ちになるように」という思いで、毎回の演奏に臨んでおります。いつかどこかで、私たちの演奏を聴く機会がありましたら少しでも元気をお届けできましたら幸いです。

現在、結成より23年を迎える篠懸太鼓は、年々部員数が増え、お引き受けするステージのご依頼の数も増えてまいりました。結成当時より使用している太鼓は老朽化が進んでおり、太鼓は1基何十万と高価なため、部員やOB・OGの先生方からのご寄付や学会等での謝礼金を積み立てて修理にあたっております。つきましては、篠懸太鼓の今後の成長と発展のために、皆様方のご支援、ご協力を賜りたく、ここにお願いさせていただく次第でございます。ならびに、学会等で太鼓の元気な演奏が必要になりましたら、篠懸太鼓公式HPよりご相談いただけますと幸いです。

最後になりましたが、充実した部活動を行えますのも、一重に皆様方からのご支援、ご協力のおかげでございます。今後とも人とのつながりを大切にしながら活動していけますよう、部員一同精進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



第15回清花祭



第42回きよたけ郷土祭り

【寄付先】

ゆうちょ銀行からの場合：【記号】17350【番号】21678611【口座名】スズカケダイコオービーカイ
他金融機関からの場合：【店名】738【預金種目】普通預金【口座番号】2167861

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
10月 1 日	・日本医師会認定健康スポーツ医に関するアンケートの協力依頼の送付について ・厚生労働省「令和元年度動物由来感染症対策技術研修会」の開催について ・「定期の予防接種等による副反応疑いの報告等の取扱いについて」の一部改正について ・予防接種法施行規則の一部を改正する省令の公布および「定期の予防接種等による副反応疑いの報告等の取扱いについて」の一部改正について
10月 8 日	・令和元年病床機能報告の実施について ・診療所の管理者の常勤について（通知）について ・NBCR対策推進機構 第6回「化学テロ・化学災害対策担当者養成講習会」の開催について（再依頼） ・「使用上の注意」の改訂について ・ゲル充填人工乳房及び皮膚拡張器植込み患者等に対する情報提供の徹底について ・一般用医薬品の適正使用のための情報提供等及び依存の疑いのある事例の副作用等報告の実施について ・測定系にバイオチンを用いる体外診断用医薬品の添付文書の自主点検等について ・国民健康保険法施行規則等の一部を改正する省令の公布について ・日医キャラクター「日医君」のLINEスタンプ販売開始のお知らせ並びに会報誌への掲載に関する協力依頼について ・令和元年10月1日からの消費税軽減税率制度実施に伴う協力依頼 ・地域医療介護総合確保基金（医療分）を活用した地域医療情報連携ネットワーク構築に当たっての留意事項について ・ギャンブル等依存症対策における各地域の包括的な連携協力体制の構築について ・戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム」成果発表シンポジウム2019の開催について ・令和元年度文部科学省補助事業アレルギー講習会（学校における普及啓発講習会）の開催について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・セファゾリンナトリウム注射用「日医工」が安定供給されるまでの対応について ・「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴う「医療法人の機関について」の改正について並びに厚生労働省関係省令の整備等に関する省令の公布について ・日本医師会・日本がん登録協議会共催シンポジウム「がん統計の活用と未来」の開催について ・医療機関における外国人患者の受入れに係る実態調査について ・第25回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会の開催について
10月 9 日	・療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等の一部改正について ・検査料の点数の取扱いについて ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第21回報告書」及び「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 2018年 年報」の周知について ・労災診療費算定基準の一部改定について ・セファゾリンナトリウム注射用「日医工」が安定供給されるまでの対応について ・4種混合ワクチン（DPT-IPV）（製品名：テトラビック皮下注シリンジ）の自主回収への対応について ・季節性インフルエンザワクチンの供給について ・厚生労働省主催「令和元年度新型インフルエンザの診療と対策に関する研修」の開催について ・消費税率の引き上げに伴う軽減税率制度の導入について ・福岡県医師会第17回「卒後臨床研修指導医ワークショップ」の開催について
10月10日	・公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業第58回報告書の送付について

送付日	文 書 名
10月11日	・医療用医薬品の「販売情報提供活動監視事業」について ・血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針（基本方針）第八に定める血液製剤代替医薬品について ・令和元年度第1回宮崎県難病対策協議会講演会について ・季節性インフルエンザワクチンの供給について ・沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ（セービン株）混合ワクチンの自主回収への対応について
10月15日	・看護師等養成課程における専門実践教育訓練の申請受付に係る周知について ・令和元年台風19号に伴う災害の被災者に係る被保険者証等の提示等について ・腸管出血性大腸菌感染症（EHEC）を認める症例の実態把握について ・公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業第58回報告書の送付について
10月16日	・腸管出血性大腸菌感染症（EHEC）を認める症例の実態把握について ・麻しん及び風しんの定期接種（第2期）対象者に対する積極的な勧奨等について ・令和元年台風第19号に伴う災害による被災者に係る公費負担医療の取扱いについて ・令和元年台風19号に伴う災害の被災に伴う保険診療関係等及び診療報酬の取扱いについて ・令和元年台風19号に伴う災害による被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・「地域・職域連携推進ガイドライン」及び「これからの地域・職域連携推進の在り方に関する検討会報告書」の送付について
10月18日	・デング熱の国内感染が疑われる症例の発生について ・令和元年台風第19号に係る被災地域における感染症予防対策について ・デング熱の国内感染症例の発生について
10月21日	・独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・薬剤溶出型冠動脈ステント及び薬剤塗布型冠血管向けバルーン拡張式血管形成術用カテーテルに係る使用上の注意の改訂について ・病院の耐震改修の状況の調査について ・令和元年台風第19号に伴う災害の被災者に係る一部負担金等の取扱いについて ・診療用放射線の安全利用のための指針策定に関するガイドラインについて
10月23日	・令和元年度 死亡時画像診断（Ai）研修会の開催について ・政府広報テレビ番組（BS放送）「お知らせコーナー」における次世代医療基盤法の放送について ・映画「閉鎖病棟－それぞれの朝－」の広報に関する協力依頼の件 ・令和元年台風第19号に係る被災地におけるインフルエンザ等の感染症対策の実施について
10月24日	・令和元年台風第19号に係る避難所等におけるインフルエンザ対策について ・介護分野における特定技能制度説明会のお知らせ
10月25日	・産業保健委員会中間答申の送付について ・計量強調月間について ・看護人材受入体制強化支援事業の周知について ・「明日からの実践につながる！思春期の体と性と心」研修会の開催について ・令和元年台風第19号に係る避難所におけるインフルエンザの予防接種について ・「新型インフルエンザ等対策に係る住民接種実施要領」の一部訂正及びQ&Aの送付について
10月29日	・「重篤副作用疾患別対応マニュアル」のホームページ掲載について ・「日本地域包括ケア学会 第1回大会」の開催について ・「VISIT 利用申請受付機能」のリリースについて ・令和元年台風第19号に係る避難所におけるインフルエンザの予防接種に係る取扱について（Q&A） ・認知症初期集中支援推進事業における「短縮版Zarit介護負担尺度日本語版（J-ZBI_8）」の取扱について ・ヒアリに刺された場合の医療的留意事項について ・厚生労働省「看護基礎教育検討会報告書」について ・「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム」成果発表シンポジウム2019」パンフレットの送付について
10月31日	・令和元年8月13日から9月24日までの間の暴風雨及び豪雨による災害並びに令和元年台風第19号による災害に伴う診療録等の文書の保存に係る取扱いについて ・令和元年度乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間の実施に伴う普及啓発について ・外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口開設について ・「日医君」カレンダー先行予約のお知らせ並びに広報協力依頼について

あとかき



なのかを、ふと考えることがあります。おそらく訪れるであろう、令和16年には、総人口の3分の1が65歳以上となり、今までの“常識”が“非常識”となる時代を、自分は歩んでいかなくてはなりません。外見に反してガラスでできた心を持つ自分には、とても荷が重いです。

そんな自分の情けなさを感じた時は、女優の芦田愛菜さんが国民祭典で述べた天皇皇后両陛下への祝辞を、何度もYou Tubeで拝聴します。マルマルモリモリを、かわいく歌って踊っていた“まなちゃん”が、あんなにも聡明で美しく、国民の代表として祝賀のコメントを読み上げる姿を見ると、悩んでもしょうがないだろうと“まなちゃん”に怒られている気がして、我に返ります。ありがとう、まなちゃん。

話題は変わりますが、東京五輪観戦チケットの2次抽選に申し込みました。この12月号が発行される時期には、結果発表間近です。どうか当たりますように。読者皆様様の来年のご健勝・ご多幸をお祈りいたしております。来年も日州医事をどうぞよろしくお願いいたします。(植田)

* * *

今年のプロ野球はソフトバンクの3年連続日本一で幕を閉じました。ソフトバンクファンですが、昨年に続いてシーズン2位からの日本一には違和感があります。特にポストシーズンでのソフトバンクの強さが際だっただけに、長いペナントレースは一体何だったのかと感じます。OBの誰かが言っていたように両リーグの同順位同士が戦って1位から12位まで決めるとかの方がすっきりする気がします。シーズン2位なのに優勝旅行行きますって、オイオイって感じしませんか？(稲倉)

* * *

先月終了したワールドカップラグビーは盛り上がりでしたね。気がつけば私もご多分に漏れず、にわかファンになっていました。これまでは自分がしていたこともありサッカーを熱心に見ていましたが、ラグビーの試合後の感動は大きかった。小さな選手が身長2mを超える大きな選手に果敢にタックルし、とばされてもすぐ立ち上がり守備にもどる。ちょっと押されただけで大袈裟に倒れファールを主張するサッカー(シミュレーション)って何なのでしょう？すぐ立てと言いたい。(沖田)

* * *

先日、子ども2人とカラオケに行った。子どもたちは、同じ曲を1人ずつ歌い、高得点を目指していた。一方私は、子ども1人2曲に対し1曲の割合で歌うように、更に、一緒に口ずさんだり、マスターしていない曲を練習のために歌ったりするのは厳禁と言われた。手厳しいなあと思ったが、私から誘ったら、一緒に歌ってくれた。子どもたちからの誘いはなかったが、真剣に歌う彼らの横顔を眺めながら、その成長を実感できた夜だった。(山崎)

10月22日の即位礼正殿の儀が無事に執り行われ、11月10日には祝賀御列の儀も盛大に行われました。改めて、天皇陛下御即位にあたり、心よりお祝いを申し上げます。また、このような時代の節目に、日州医事のあとかきメインを担当させていただき、大変光栄に思います。

令和という時代に生きる医師として、何をすべき

先日、西都の古墳まつりへ行ってきました。一面に咲くコスモスの横を、古代の衣装に身を包み、松明を持った行列が進んでいく光景は幻想的でした。また、ニギノミコトとコノハナサクヤヒメの伝説に耳を傾け、千数百年前のこの地で、モチーフになった物語が本当に繰り広げられていたらと想像すると感慨深かったです。やはり神話は、その歴史的意義だけでなく、後世の人間が思いを馳せるという点に、大きな価値があると思いました。来年は桜と菜の花を見に行こうと思います。(伊澤)

* * *

10月に人生初の海外旅行で、タイのバンコクに行ってきました。空港から出た瞬間の暑さや、大量の車が行き交う様子、街並みを見て海外に来たという実感が湧きました。観光ではテレビで見たことのあるアユタヤ遺跡、巨大な黄金の寝釈迦像、水上マーケットなどを実際に見て、とても感動しました。本場のタイ料理も食べることができ、美味しさとその安さに驚きました。まだまだ書き足りないくらい楽しかったので、また近いうちに海外旅行に行きたいです。(河野(真))

* * *

最近、空港や学会場で女性トイレの前で長く列を作る光景を目にします。知り合いの建築家によると以前の建築では男性と女性のトイレは同じ面積で作ることが多く、どうしても女性トイレでのブースの数が不足することです。十分な数のブースを作るには女性トイレは男性の2,3倍の面積が必要で、最近の建築ではその点を考慮しつつあるとのこと。女性の社会進出を進めるにはこうした配慮も必要です。(佐々木)

今月のトピックス

日州医談 救急・災害医療に関わって

県内の救急医療，災害医療についての現状と問題点について理事の米澤勤先生に解説していただきました。百年に1度レベルの災害が毎年おこっており，災害医療体制の拡充は喫緊の課題と思います。

4 ページ

診療メモ 死体検案と死体検案書の作成の注意点

日頃，あまり意識してこなかった死体検案と死体検案書作成の注意点について，宮崎大学医学部社会医学講座 法医学分野の湯川修弘先生に詳細に解説していただきました。

68 ページ

宮大医学部学生のページ 部活動紹介～篠懸太鼓～

篠懸太鼓の活動について宮崎大学医学部医学科5年生の澤村成美さんに紹介してもらいました。熱き青春のエネルギーを太鼓にぶつけて各地で活躍しているようです。読者諸兄，寄付をお願いします！

84 ページ

日 州 医 事 第844号 (令和元年12月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 西田 隆昭・副 委 員 長 稲倉 琢也，野村 勝政

委 員 沖田 和久，山崎 俊輔，上山 貴子，植田 雄一

学 生 委 員 伊澤 和範，土持 友香，河野 太地，河野 真菜

担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗，佐々木 究

事 務 局 学術広報課 本崎 礼子，牧野 諭

印刷所 有限会社 中川 印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し，県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)